

## 三菱ショーケース 業務用 (冷凍機内蔵形) 取扱説明書

### 形名

エスバイ ジェイエフ ジェイアールバイエー

**SV-JF584JRVA**

エスバイ ジェイエフ ジェイアールバイエーアール

**SV-JF582JRVA-R**

エスバイ ジェイエフ ジェイアールバイエー

**SV-JF684JRVA**

エスバイ ジェイエフ ジェイアールバイエーエス

**SV-JF682JRVA-S**

エスバイ ジェイエフ ジェイアールバイエーアール

**SV-JF682JRVA-R**

エスバイ ジェイエフ ジェイアールバイエー

**SV-JF784JRVA**

エスバイ ジェイエフ ジェイアールバイエーアール

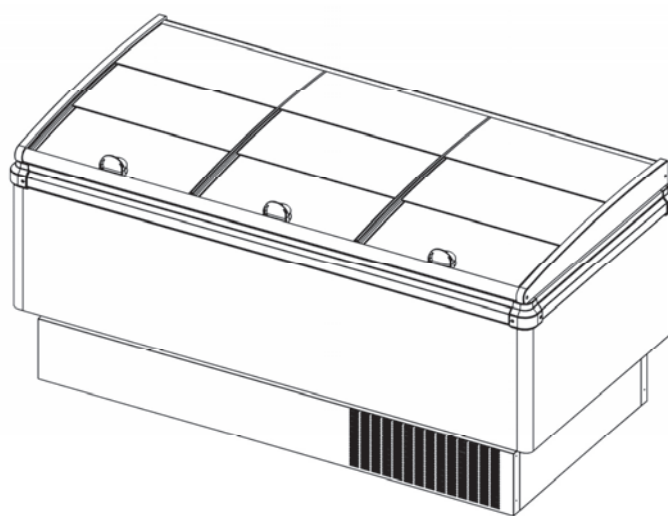
**SV-JF782JRVA-R**

エスバイ ジェイエフ ジェイアールバイエー

**SV-JF884JRVA**

エスバイ ジェイエフ ジェイアールバイエーアール

**SV-JF882JRVA-R**



(SV-JF684JRVA)

- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。  
特に「安全のために必ず守ること」は必ず読んで正しくお使いください。
- 「取扱説明書」は大切に保管してください。
- お使いの製品を貸与される場合は、新しくお使いになるお客様が安全な正しい使い方を知るために、この「取扱説明書」を製品の目立つところに添付してください。
- 別紙の「三菱電機修理窓口・ご相談窓口のご案内」は大切に保管してください。また製品を貸与される時は製品に添付してください。
- ご使用されるお客様自身で据え付けしないでください。  
(安全や機能の確保ができません)

**このショーケースは、自然冷媒R290（プロパン）を使用しています。**

### お取扱販売店の方へ

ショーケースをお客様に引き渡しされる前に、必ず取扱説明書で「安全のために必ず守ること」「ご使用方法」等をお使いになる方にご説明ください。

## 特長

### 1. -25℃までしっかりと冷却

### 2. 冷凍・冷蔵切替可能

冷凍でも冷蔵でも使える2温度切替機能を搭載。  
シーズンごとに陳列商品を変更できます。

### 3. 環境に配慮した自然冷媒R290を採用

自然冷媒の中でもエネルギー効率の良いR290(プロパン)【GWP※3】を採用により  
省エネルギー化を実現しています。

さらに、標準装備のガラス扉により外気の影響を抑え、庫内温度の安定的な管理が可能です。

※地球温暖化係数(GWP)とは、二酸化炭素「GWP 1」を基準として他の温室効果ガスがどれだけ温暖化に寄与するかを相対的に表した数値です。

## よくあるご質問

**Q** 冷却運転停止中に送風機（凝縮器）が運転をしている。

**A** 冷媒が漏れた場合の安全性を確保するため、常に送風機（凝縮器）を運転して空気を攪拌しています。

**Q** 冷却運転の庫内温度を調整したい。

**A** コントローラで設定変更ができます。

**P.17**

**Q** コントローラの表示器に“Pd”が表示されている。

**A** 霜取り運転終了後の急冷中です。  
庫内温度が目標温度+3℃以下になるか霜取り運転終了1時間経過後に温度表示に戻ります。

**Q** 霜取り方法は？

**A** ヒータ方式です。  
ヒータの熱で霜取りを行います。

**Q** 霜取り運転の周期は？

**A** 工場出荷時は、2日毎に朝の4時に霜取り運転を開始するように設定しています。  
周期及び霜取り運転開始時間はコントローラで設定変更ができます。

**P.17**

**P.18**

**P.19**

**Q** 霜取り運転1回当たりの目安時間は？  
(分)

目安時間(分)	
ファミリーパックアイス(箱入り)	45分
冷凍食品	65分
カップアイスなど個包装アイス ロックアイス	75分

陳列商品の種類や量、または周囲環境(温度・湿度)により異なります。


# もくじ


	ページ		
ご使用の前に	安全のために必ずお守りください	4	
	ご使用上のお願い	9	
	各部のなまえとはたらき	10	
	ご使用前の準備	12	
ご使用のときに	ご使用方法	15	
	冷却運転を開始・停止する	…15	
	商品の入れ方	…15	
	工場出荷設定値	…16	
	冷凍⇔冷蔵を切り替える	…16	
	目標温度設定値を変更する	…17	
	霜取り周期について	…17	
	霜取り運転周期を変更する	…18	
	霜取り運転開始時刻を変更する	…19	
	コントローラ キー操作ロック機能について	…20	
	コントローラ キー操作ロックのしかた	…21	
	コントローラ キー操作ロック一時解除のしかた	…22	
	コントローラ キー操作ロック変更・解除のしかた	…22	
	ドレン満水警報の解除のしかた	…23	
	消耗品	…23	
	こんなときに	お手入れと点検	24
		お手入れ・点検箇所と頻度	…24
		お手入れ・点検をする前に	…25
		フィルター	お手入れ：月に1回以上
ドレン口・ドレン溝		お手入れ：月に1回	…27
蒸発板		お手入れ：半年に1回	…28
電源プラグ		お手入れ：半年に1回	…29
漏電遮断器		点検：半年に1回	…29
蒸発皿		点検：日常	…30
水位センサ		点検：日常	…30
故障かな？と思ったら		31	
運転しない		…31	
音がうるさい		…32	
よく冷えない	…32		
蒸発皿にドレン水が頻繁にたまる	…33		
外装・ガラス扉に露が付く	…33		
ドレン満水警報が赤く点滅する	…33		
コントローラ の操作ができない	…33		
コントローラ にエラー表示が出たときは	…34		
据付工事確認と試運転	35		
保管・移設・廃棄について	35		
付属品について	36		
仕様	37		
保障とアフターサービス	裏表紙		

# 安全のために必ず守ること




お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

 <b>警告</b>	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの
---	--------------------------------

 <b>注意</b>	誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの
---	------------------------------------




■ 図記号の意味は次の通りです。

してはいけない「禁止」事項	知っていただきたい「注意」事項
 <b>禁止</b>	 <b>火災の危険あり 可燃性物質</b>
 <b>分解禁止</b>	 <b>回転物注意</b>
 <b>接触禁止</b>	お守りいただく「指示」事項
 <b>ぬれ手禁止</b>	 <b>指示を守る</b>
 <b>水ぬれ禁止</b>	 <b>アース接続</b>








## 全般

 <b>警告</b>	 <b>禁止</b>	可燃性物質であるプロパン(R290)を冷媒に使用のため ショーケースにたばこや火気を近づけたり、火気のそばで使用しない 火災の原因		
	 <b>禁止</b>	ショーケースの吸気口・排気口をふさがない 冷媒漏えい時の安全確保に必要な風量が低下し火災の原因	 <b>禁止</b>	冷媒が漏れたときに安全を確保するための機能を備えているため、お手入れ・点検時以外は電源を切らない 火災の原因
	 <b>発火注意</b>	冷媒が滞留しないように十分な換気を行う 冷媒が充填された状態での火気使用厳禁 配管を傷つけたり、損傷させたりしない 火災の原因		
	 <b>確認する</b>	据付・メンテナンス・移設・撤去・廃棄のときはR290に対して <u>使用が許可されている携帯形漏えい検知器を常に携行し、冷媒が漏えいしていないことを確認する</u> 火災の原因	 <b>指示を守る</b>	据付・メンテナンス・お手入れ・移設・撤去・廃棄のときは静電気防止のため軍手などを着用する 静電気による火災の原因

## 電源プラグ・電源コード

 <b>警告</b>	 <b>禁止</b>	電源コードに重いものをのせたり挟み込んだりしない 火災・感電の原因	 <b>禁止</b>	電源コードを傷つけたり加工しない 火災・感電の原因
---	---	--------------------------------------	---	------------------------------




電源プラグ・電源コード つづき

 <p><b>警告</b></p>	 <p>電源コードを無理に曲げたり たばねたりしない 禁止 火災・感電の原因</p>	 <p>電源プラグはコードを 引っ張って抜かない 禁止 発熱・火災の原因</p>
	 <p>ぬれた手で電源プラグを 抜き差ししない ぬれ手禁止 感電の原因</p>	 <p>電源コードは延長コードの 使用やタコ足配線をしない 禁止 発熱・火災の原因</p>
	 <p>電源プラグのほこりを 定期的に取り ほこりを取る 火災の原因</p>	 <p>電源プラグは、がたのない ように刃の根元まで確実に 差し込む 差し込む 火災・感電の原因</p>

据え付け時


















 <p><b>警告</b></p>	 <p>屋外、水のかかりやすい場所、 湿気の多い所に据え付けない 水ぬれ禁止 火災・感電・漏電の原因</p>	 <p>ハロゲン系ガスや亜酸化窒素 ガスの近くに据え付けない 禁止 爆発・火災の原因</p>
	 <p>使用範囲(周囲温度・湿度)を こえた場所に据え付けない 禁止 ショーケース本体・ガラス扉に 結露水が発生、床面にたれ、 転倒・ケガの原因</p>	 <p>周囲に隙間をあけ、通風の 妨げになる物を置かない 禁止 火災の原因</p>
	 <p>据え付けは販売店または専門 業者に依頼する 依頼する 火災・感電・水漏れの原因</p>	 <p>製品質量に十分耐える所に 据え付けて固定する 固定する ケガの原因</p>
	 <p>電源は交流100V定格15A 以上の専用コンセントを使用 する 使用する 発熱・火災の原因</p>	 <p>アース端子付きのコンセント にプラグを差す アース接続 感電の原因</p>

ご使用时

 <p><b>警告</b></p>	 <p>ショーケースに直接水を かけない 水ぬれ禁止 漏電・感電の原因</p>	 <p>揮発性・引火性のあるものは 庫内に入れない 入れない 爆発・火災の原因</p>
--	--	---

# 安全のために必ず守ること つづき

## ご使用時 つづき

 <b>警告</b>	 <p>可燃性のスプレーを近くで使用しない 爆発・火災の原因</p> <p>禁止</p>	 <p>フィルターは当社標準装備品以外のものは使用しない 安全機能低下による火災の原因</p> <p>禁止</p>
	 <p>ぬれた手で電気部品のスイッチや電気部品を触らない 感電の原因</p> <p>ぬれ手禁止</p>	 <p>ショーケース庫内で電気機器を使用しない 爆発・火災の原因</p> <p>禁止</p>
	 <p>霜取工程を加速するための機械的な装置、その他の手段を用いない 爆発・火災の原因</p> <p>禁止</p>	 <p>漏電遮断器が作動した場合は電源プラグを抜くか、元電源を切る 火災・感電の原因</p> <p>電源を切る</p>
	 <p>異常時は運転を停止して、漏電遮断器を切り、電源プラグを抜く 火災・感電の原因</p> <p>電源を切る</p>	
 <b>注意</b>	 <p>ショーケースの上に重量物や水を入れた容器を置かない ケガ・感電の原因</p> <p>置かない</p>	 <p>ショーケースの上に乗らない ケガの原因</p> <p>乗らない</p>
	 <p>庫内温度0℃以下でご使用のときは、庫内にビンやカン類を入れない ケガの原因</p> <p>入れない</p>	 <p>ガラス扉の上に乗ったり、物を置かない ガラス破損によるケガの原因</p> <p>禁止</p>
	 <p>ガラス扉に手をついたり、勢いよく開閉しない ガラス破損によるケガの原因</p> <p>禁止</p>	 <p>ガラス扉は取っ手を持って開閉する 取っ手を持つ 手の挟み込みによるケガの原因</p>
	 <p>ガラス扉にきずやひびが入った状態で使用しない ガラス破損によるケガの原因</p> <p>禁止</p>	 <p>フィルターは月1回以上清掃する 清掃をする 安全機能低下による火災の原因</p>
	 <p>コントローラの満水警報が点滅したら、蒸発皿の水をすぐに排水する 床面に水がたれ、転倒・ケガの原因</p> <p>排水する</p>	

点検・お手入れのとき

 <b>警告</b>	 <b>分解禁止</b> 専門業者以外の方は絶対に分解・修理・改造をしない 火災・感電・水漏れ・ケガの原因	 <b>指定以外の冷媒を使用しない</b> 使用しない 破裂・ケガの原因
	 <b>接触禁止</b> フィルター清掃時は凝縮器フィンに直接手を触れない ケガの原因	 <b>ファンに指や棒などをいれない</b> ケガの原因 回転物注意
	 <b>電源を切る</b> お手入れや点検のときは必ず漏電遮断器を切る 感電・ケガの原因	 <b>確認する</b> 漏電遮断器は定期的に動作を確認する 火災・感電の原因

保管・移設時

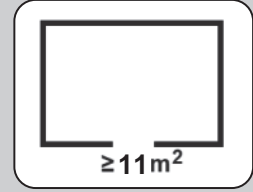
 <b>警告</b>	 <b>電源を切る</b> 長期間ご使用にならない場合は、安全のために漏電遮断器を切り、電源プラグを抜く 火災の原因	 <b>依頼する</b> 移設は当社代理店または販売店に依頼する 火災・感電・水漏れ・ケガの原因
	 <b>避ける</b> 保管する場合は、幼児が立ち入る場所を避ける ケガや閉じ込めの原因	 <b>傷つけない</b> 移動するときは、漏電遮断器を切り、電源プラグをコンセントから抜いて電源コードを傷つけないように移動する 火災・感電の原因
	 <b>置かない</b> 燃えやすい物をショーケースの周囲に置かない 火災の原因	 <b>力を加えない</b> 移動するときは、ガラス部分に力を加えない ケガの原因
	 <b>保管する</b> 風通しがよく、近くに火気がない場所に保管する 火災の原因	
 <b>注意</b>	 <b>水ぬれ禁止</b> 長期間ご使用にならない場合は、水のかかる場所や湿気の多い所に保管しない 漏電・感電の原因	 <b>よく乾燥させる</b> 長期間ご使用にならない場合は、庫内の水気をよく乾燥させる 水漏れの原因
	 <b>排水する</b> 移動するときは、蒸発皿の水を排水をする 漏電・感電の原因	

# 安全のために必ず守ること つづき

## 可燃性冷媒を使用したショーケースについて

- このショーケースに使用されている冷媒は、通常漏れることはありませんが、万が一冷媒が漏れて火気に触れると火災が発生するおそれがあります。そのため送風機（凝縮器）を常時運転し、床面や物陰に冷媒がたまらないようになっています。
- 送風機（凝縮器）を常時運転し、冷媒が漏れた場合の安全性を確保しています。ただし、サービス時に冷媒が漏れていることが分かった場合には、より安全性を確保するため、サービスマンが周辺に着火源または引火性もしくは発火性の物がない風通しの良い場所まで移動いたします。
- 機体に貼付けている銘板（ラベル）をはがさないでください。☞右図の3枚

### 【銘板（ラベル）】



※SV-JF684,682形用

**警告**

**火災の危険あり / 可燃性物質**

- ・冷媒が滞留しないような十分な換気を行う。
- ・冷媒が充填された状態での火気使用厳禁。
- ・配管を傷つけたり、損傷させたりしない。

**電源を切らない**

可燃性冷媒を使用しており、冷媒が漏れたときに安全に運用するための機能を備えています。お手入れ・点検時以外は電源を切らないでください。

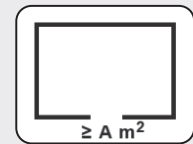
## 設置場所について

- 安全にご使用頂くために最小設置床面積以上天井高さ2.2m以上の場所に設置してください。万が一冷媒が漏れた場合、可燃性冷媒を拡散させるために必要な設置条件です。
- 最小設置床面積を記載した銘板は、点検蓋のおもて面に貼り付けています。

### 【最小設置床面積】

形名	A
SV-JF584,582形	10㎡以上
SV-JF684,682形	11㎡以上
SV-JF784,782形	13㎡以上
SV-JF884,882形	

最小設置床面積  
表示銘板



### 最小設置床面積

ショーケースを設置する場所の壁で囲われている部分です。同一階で開放している通路でつながっている部屋は床面積に含まれます。ただし、開放している通路とは以下の条件に適合する場合に限りです。

- ・人が普通に歩ける幅があること
- ・開閉可能な扉がないこと
- ・冷媒を拡散させる際に滞るような段差・構造物がないこと



配管を傷つけたり製品が転倒したときは、ただちに運転を停止し、当社販売店または専門業者、「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」（別紙）にご相談ください。可燃性冷媒を使用していますので発火・火災のおそれがあります。

# ご使用上のお願い

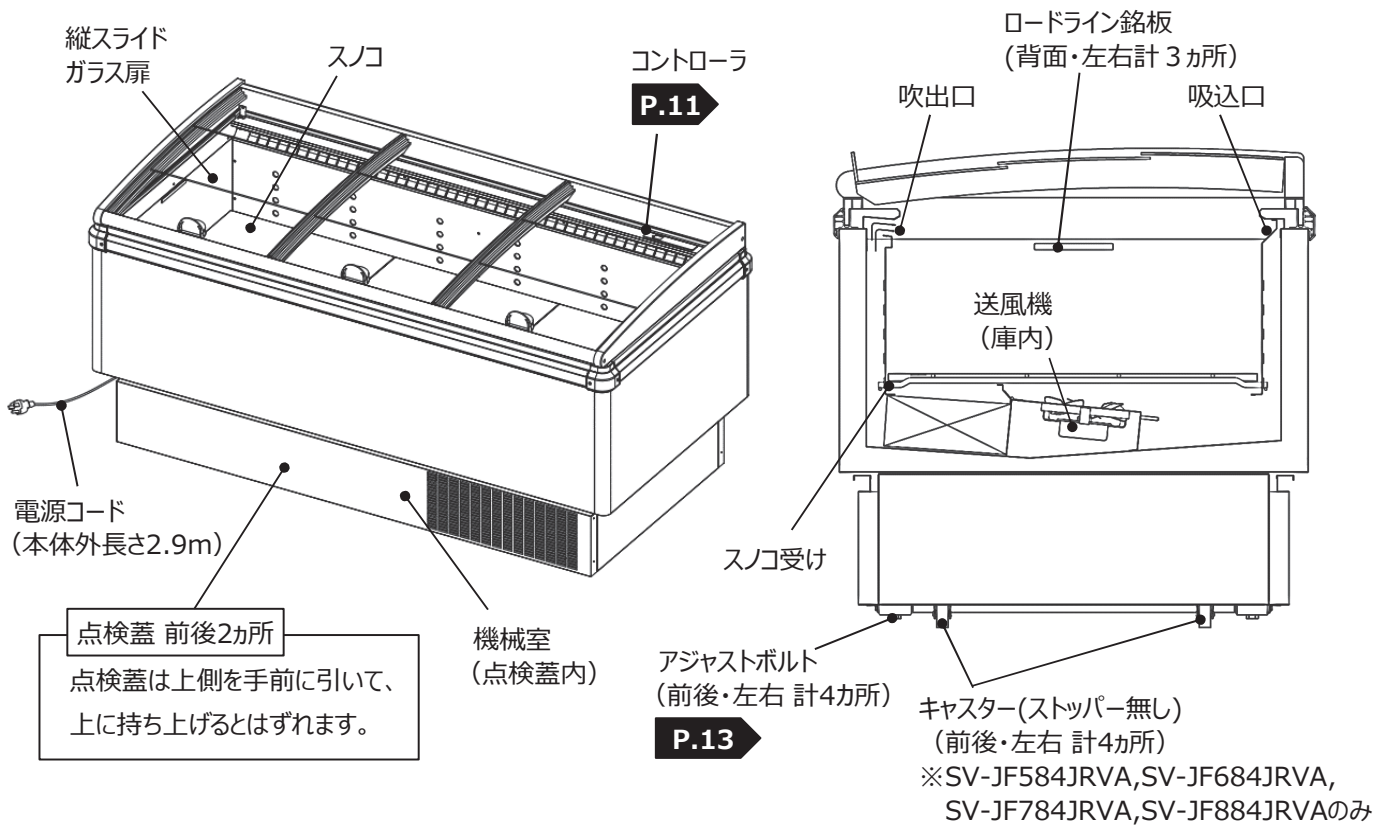
- 食品販売用のショーケースです。密閉容器（食品）の展示販売用としてご使用ください。  
医薬品・学術試料・食品以外の保管には使用しないでください。
- この製品は屋内、空調設備のある店舗用に設計されております。  
直射日光のあたるところ雨水のかかるところで使用しないでください。
- ガラス扉を取り外した状態や開いたままで使用しないでください。  
冷却不良の原因となります。
- 硫黄系ガス・酸・アルカリ雰囲気（温泉地、化学薬品工場、下水処理場、メッキ工場、食品加工工場や加工をする店舗等）では、熱交換器や配管が腐食をおこすおそれがあります。当社代理店にご相談ください。
- 製品を長く、清潔にご使用いただくために、定期的にお手入れ・点検をしてください。
- 万が一、水害などで製品が冠水してしまった場合はすぐに漏電遮断器をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。水に濡れた製品を使用すると通電火災の恐れがありますので販売店へご相談し、必ず点検・修理を受けてください。  
※漏電遮断器が「OFF」になっていない場合は、レバーを必ず「OFF」にしてから電源プラグを抜いてください。

## 可燃性冷媒を使用している製品を安全にご使用いただくための注意点について

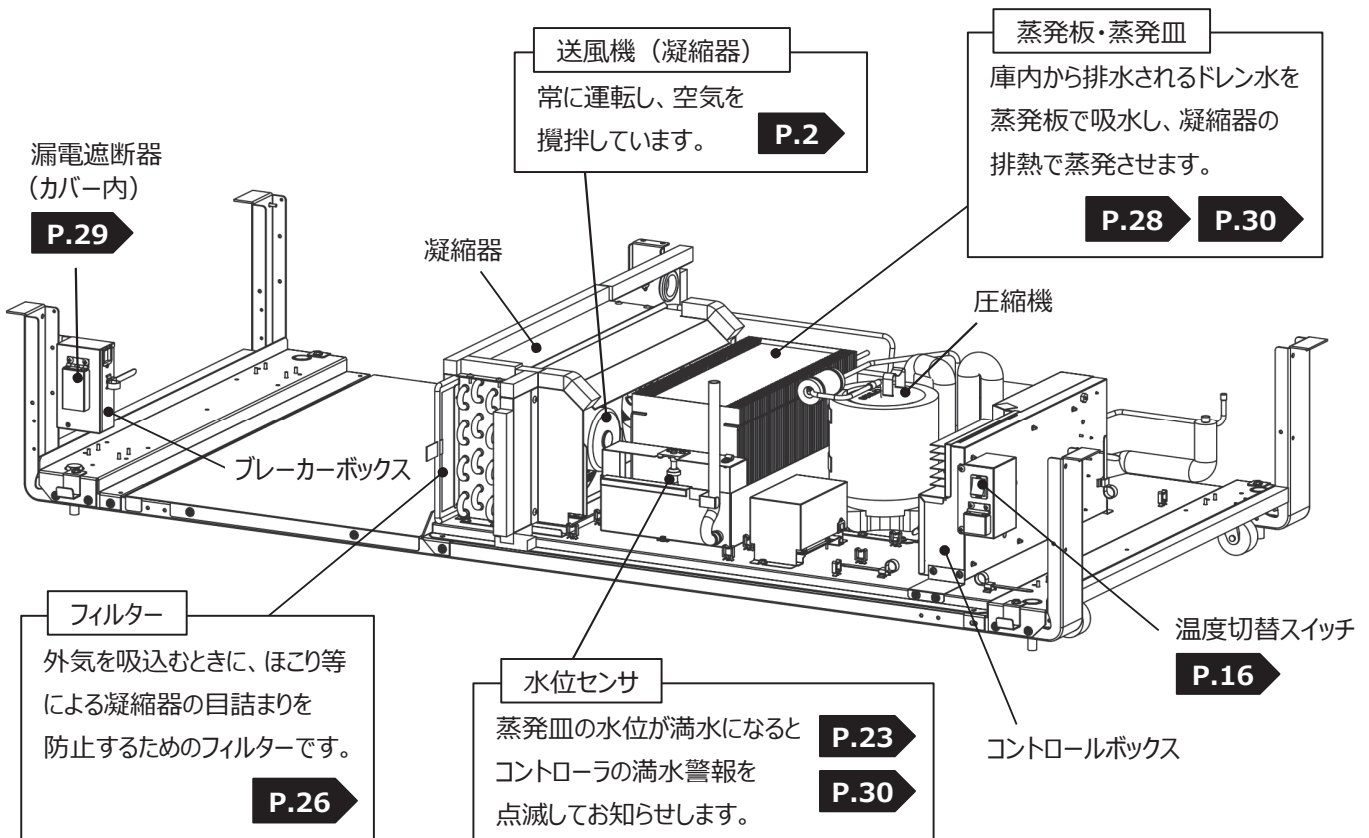
- 可燃性冷媒を使用している製品のため冷媒漏えい時は、下記対応を直ちにおこなってください。
  - ・ 冷媒の滞留が起きないように十分な換気をおこなってください。  
※換気は窓やドアを開けておこなってください。換気扇など電気製品・部品は使用しないでください。
  - ・ 機器の近くからは着火源を排除してください。
- 輸送、保管、据え付け、メンテナンス、撤去、廃棄を行う場合は下記を必ずご確認ください。  
可燃性冷媒を使用しているため、製品周辺での火気使用は厳禁です。  
機器の近くからなるべく着火源を排除してください。
  - ※着火源にはライターやバーナーなどの裸火、コンロなどの燃焼機器、ヒーター、たばこ、  
ブラシモーターによる火花、静電気、換気扇や照明機器類のON/OFFスイッチなどが該当します。  
作業時は作業場所のすぐ近くに消火器があることを確認ください。消火器が近くにない場合は、  
着火時に即座に消火できるよう水を入れたバケツ、または水を浸したウエスを携行ください。
- 輸送、据え付け、メンテナンス、撤去、廃棄の作業時は**R290に対して使用が許可されている携帯形漏えい検知器を常に携行**し、冷媒漏えいしていないことを確認してください。

# 各部のなまえとはたらき

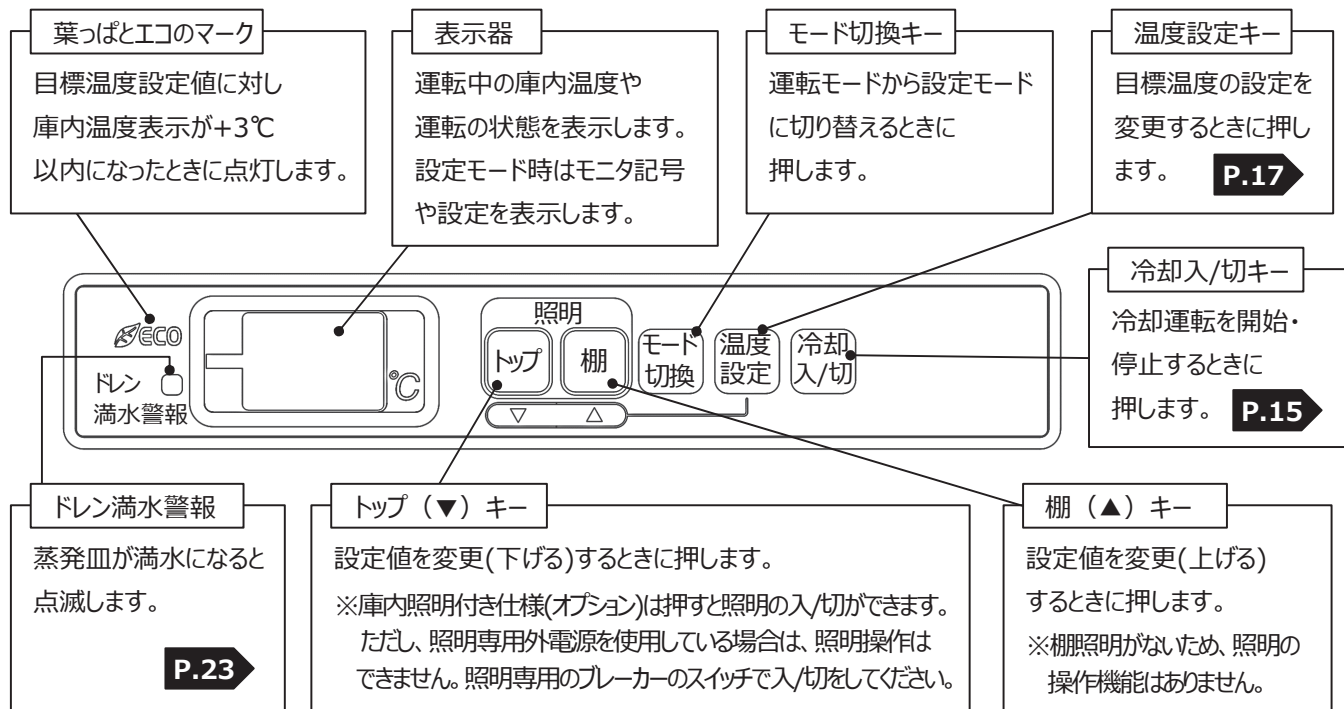
## 本体








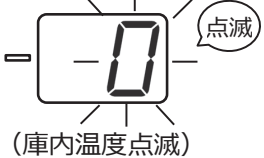


## 機械室



# コントローラ



## 運転中の表示

表示	運転状態	表示	運転状態
 (バーバー)	冷却運転停止中	 (庫内温度と異常表示の交互点滅)	異常警告表示 <b>P.34</b>
 (庫内温度 0℃の場合)	冷却運転中	 (庫内温度点滅)	点滅周期 3秒点灯/0.5秒消灯の場合 異常警告表示 <b>P.34</b>
 (エルシー)	コントローラ 操作 ロック中 <b>P.33</b>	 (庫内温度点滅)	点滅周期 0.5秒点灯/0.5秒消灯の場合 除霜禁止モード <b>P.34</b>
 (デーエフ)	霜取り運転中 ●冷却器霜取りのため、2日毎に1回 霜取り運転を行います。 <b>P.14</b> <b>P.17</b>		
 (ピーデー)	霜取り運転終了後の急冷運転中 ●庫内温度が目標温度設定値+3℃以下になるか、または霜取り運転終了から1時間経過後に庫内温度表示に戻ります。		


# ご使用前の準備

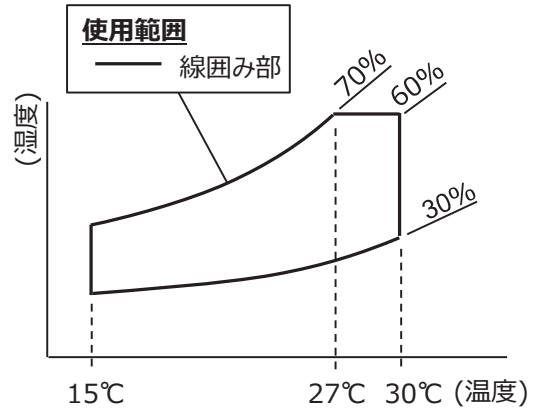
## 据え付け場所の選定

性能を十分発揮できるよう次のような場所に設置してください。

ご使用されるお客様自身で据え付けしないでください。(安全や機能の確保ができません)

### 周囲環境

- **使用範囲**(右グラフ)の温度・湿度をこえると性能低下の原因になります。
- 周囲温度が35℃以上(夜間、空調運転停止時など)になると、保護装置により正常な冷却運転が保てなくなります。
- 湿度30%以下では、樹脂部に静電気を感じる場合があります。



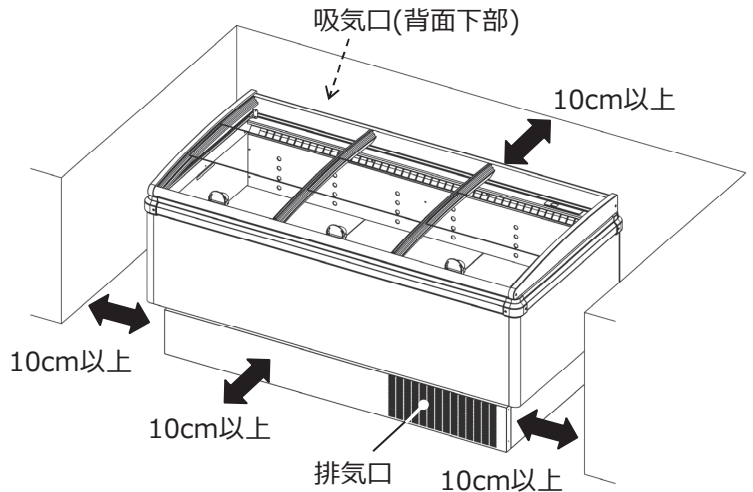
### 熱気から離れたところ

- 近くに熱源があるところや、直射日光のあたる場所に据え付けしないでください。

ショーケースの周囲温度が上昇し、暖かい外気が庫内に入り込み冷却性能低下の原因になります。

### 吸気・排気スペースを確保する

- ショーケースの左右前後に10cm以上のすきまを確保してください。
- 前面の排気口や背面の吸気口をダンボールや商品などでふさがないでください。



吸気・排気スペースを確保していないと、冷却性能・蒸発性能・安全機能低下の原因になります。

### 丈夫で水平なところ

- 丈夫で水平なところに据え付けてください。

異音や振動の原因になります。

## 警告

据え付けは販売店または専門業者に依頼する  
火災・感電・水漏れの原因

屋外で使用しない  
火災・感電・漏電の原因

屋外、水のかかりやすい場所、  
湿気の多い所に据え付けない  
火災・漏電・感電の原因

使用範囲(周囲温度・湿度)を  
こえた場所に据え付けない  
ショーケース本体・ガラス扉に  
結露水が発生、床面にたれ、  
転倒・ケガの原因

## 設置

### 傾き

ショーケースの左右、前後の傾きが1°以下、水平になるようにアジャストボルトで調整してください。

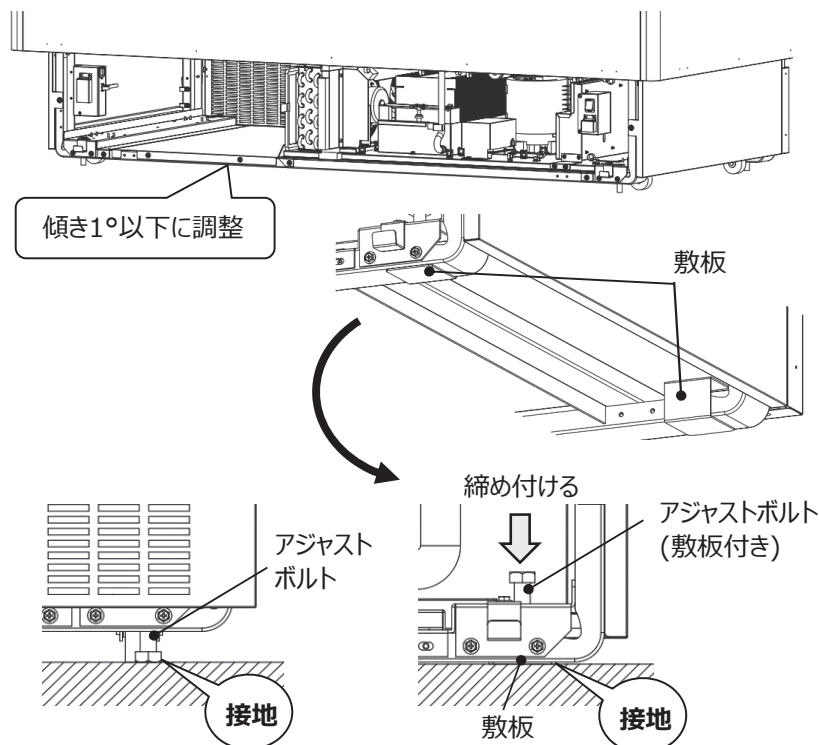
- 傾きは機械室前面(点検蓋内)のベース上などで水準器を使い、確認してください。

### 固定

ショーケースが移動しないようにアジャストボルト(前後・左右4か所)で固定してください。

- SV-JF□82JRVA-S,-R※は点検蓋を外してアジャストボルトで固定してください。アジャストボルトで床面を傷つけないようにショーケースに敷板を取り付けております。ショーケースを移動する際は、敷板で床面を傷つけないように養生するなどご注意ください。

※"□"は形名の"ケース幅(尺数)"を表しています。  
(□: 5尺,6尺,7尺,8尺)



【SV-JF□84JRVA※の場合】

【SV-JF□82JRVA-S,-R※の場合】

## 電源

### 電源

電源	単相100V
電源プラグ	2極接地極付(125V 15A)

- 傷んだ電源プラグや電源コード、差し込みのゆるいコンセントは使用しないでください。



**警告**

電源は交流100V定格15A以上の専用コンセントを使用する感電の原因

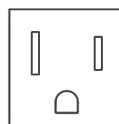
### アース

必ずアース端子付きのコンセントにプラグを差してください。

- 電源プラグはアース付になっています。単相100V2極接地極付コンセントに差し込み、アースをとってください。
- アース端子がない場合は、アース工事を実施して、アースを接続してください。  
アース工事は「電気設備に関する基準」に従って、電気工事士の有資格者がおこなってください。

据付工事完了後、35ページの事項をお客様自身でご確認ください。

コンセント差し込み形状



2極接地極付
























**警告**

アース端子付きのコンセントにプラグを差す感電の原因

# ご使用前の準備 つづき

## コントローラの時刻を合わせる

正しい時間に霜取り運転を開始するため、運転を開始する前にコントローラの時刻設定をおこなってください。  
時刻は長期間のご使用で誤差が生じるため定期的に確認し、ずれている場合は再度時刻設定をしてください。

		コントローラ表示内容
1	 <b>を3秒以上押し続ける</b> ●設定モードに変更します。	 (庫内温度表示から"uE"表示に変わります)
2	 <b>を5回押す</b>	 ("d0"で時刻設定(時)の設定ができます)
3	 <b>を押す</b>	 (現在時刻(時)が表示されます) 例 現在時刻12時の場合
4	  <b>を押して、現在時刻(時)の値を変更する</b> ▼ ▲	 (設定は00~23時でおこないます) 例 現在時刻13時の場合
5	 <b>を押す</b> ●現在時刻(時)の設定を完了します。	 ("d1"で時刻設定(分)の設定ができます)
6	 <b>を押す</b>	 (現在時刻(分)が表示されます) 例 現在分59分の場合
7	  <b>を押して、現在時刻(分)の値を変更する</b> ▼ ▲	 (設定は00~59分でおこないます) 例 現在分30分の場合
8	 <b>を押す</b> ●現在時刻(分)の設定を完了します。	 (モニタ記号表示に戻ります)
9	 <b>を3秒以上押し続ける</b> ●運転モードに戻ります。	 または  (例 庫内温度-20℃の場合) (バーバー表示) 現在の庫内温度または、バーバーが表示されます

コントローラに『E6』が表示されている場合は、停電発生により時刻がずれていることがあります。  
時刻を確認し、ずれている場合は再度時刻設定をおこなってください。

# ご使用方法

食品販売用のショーケースです。医薬品・学術試料・食品以外の保管には使用しないでください。

## 冷却運転を開始・停止する

運転を開始する前に、ショーケース専用の単相100Vコンセントを単独で使用していることを確認してください。

- 1** 表示器に **---** が表示されていることを確認する

●表示されていないときは、漏電遮断器が「OFF」になっていないか確認してください。



- 2** **冷却入/切** を3秒以上押し続け、  
運転を開始する

●圧縮機は停止保持時間（5分）経過後に動き始めます。



- 3** 表示器に庫内温度 **20** (例：庫内温度20℃のとき) が表示されたことを確認する

●冷却運転開始時の庫内温度が表示されます。



冷却運転を停止するときは、手順2の冷却入/切キーを3秒以上押し続けてください。表示が『---』に変わります。

## 商品の入れ方

- 1** ガラス扉をしめて1時間程運転し、  
庫内が冷えていることを確認する

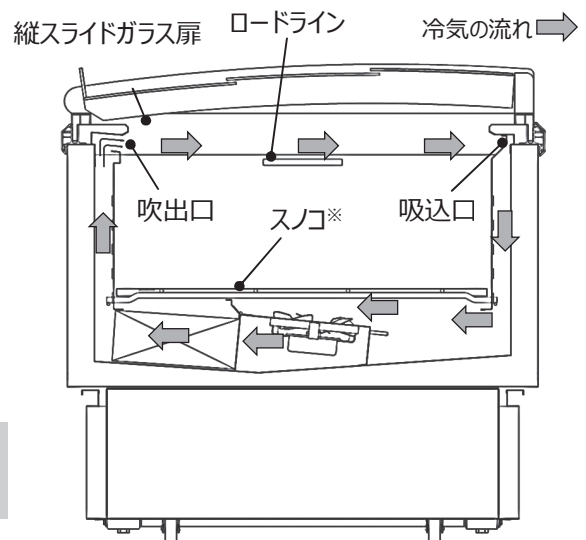
●保冷商品に合わせた設定温度まで冷えているか確認してください。

- 2** 商品を庫内に入れる

●商品で吹出口と吸入口を塞いだり、ロードラインより上に陳列すると、冷気の流れが乱れ、商品が冷えにくくなります。

●冷蔵温度帯でご使用時にロードラインより上に商品を陳列すると、吹出口付近の商品が凍結する原因になります。

●除霜運転中は、商品を追加で入れないでください。庫内温度が上がり、品温が保てない原因となります。



※スノコ一枚当たりの陳列商品許容質量は70kgです。

# ご使用方法 つづき

## 工場出荷設定値

工場出荷時は **冷凍温度帯で運転するように設定**しています。

温度帯の切り替え方法については、次の『**冷凍⇔冷蔵を切り替える**』をご覧ください。

	冷凍温度帯	冷蔵温度帯	内容
庫内目標温度 設定値	-22℃	0℃	温度設定変更方法は <b>P.17</b> をご覧ください。
低温制限温度	-25℃	-6℃	冷えすぎ防止のための制限温度です。 この温度より低い温度設定はできません。
霜取り運転 開始時刻	4時 (1回/2日)		コントローラの時刻に合わせて霜取り 運転を開始します。時刻の合わせ方は <b>P.14</b> をご覧ください。
除霜時間	最長75分		通常はセンサ検知で時間内に終了します。 目安時間は、 <b>P.2</b> をご覧ください。
霜取り方法	ヒータ方式		ヒータ方式：ヒータの熱で霜取りを行います。

 庫内目標温度は商品温度を保つための制御設定値です。

## 冷凍 ⇔ 冷蔵 を切り替える

『冷凍』⇔『冷蔵』を温度切替スイッチで簡単に切り替えができます。

### 1 前側の点検蓋をはずす

- 点検蓋は上側を手前に引いて、上に持ち上げるとはずれます。

持ち上げる

持ち上げる

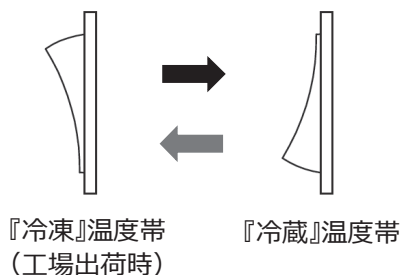
引く

引く

点検蓋

### 2 機械室右側の温度切替スイッチを『冷蔵』に切り替える

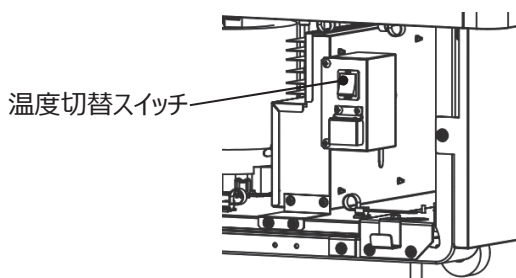
- コントローラの表示器に "ch" が3秒ほど表示され庫内温度表示にもどります。



『冷凍』温度帯  
(工場出荷時)

『冷蔵』温度帯

<温度切替スイッチ方向>



<機械室前側（右側）から見た図>

再び『冷凍』温度帯をご使用になるときは、同じ手順で切り替えてください。

## 目標温度設定値を変更する

コントローラの目標温度設定値を変更し、庫内温度を調整することができます。

工場出荷時は **-22℃** に設定しています。

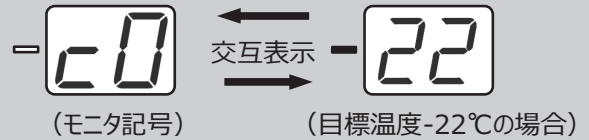
1



**を3秒以上押し続ける**

- モニタ記号と現在の目標温度設定値が交互に表示されます。

### コントローラ 表示内容



2



棚

**を押し、目標温度設定を変更する**

- 設定値を変更すると交互表示はとまります。
- トップキー：設定値を下げるときに押します。  
棚キー：設定値を上げるときに押します。

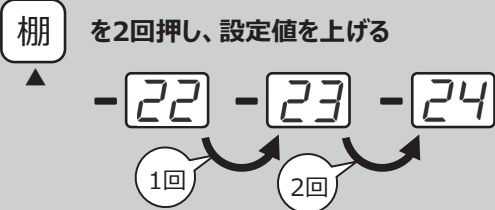
- 目標温度は低温制限温度より低い温度設定はできません。

【低温制限温度】 **冷凍運転時 -25℃**

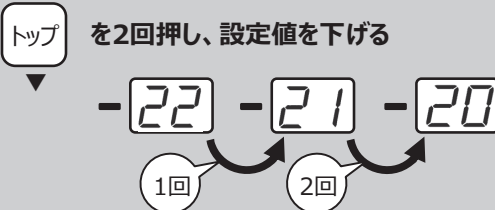
**冷蔵運転時 -6℃**

※ 冷え過ぎを防止ための設定温度下限値です。

### 例) -22℃から-24℃に変更する場合



### 例) -22℃から-20℃に変更する場合

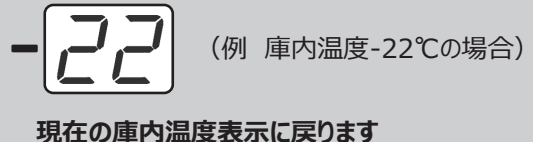


3



**を押し、確定する**

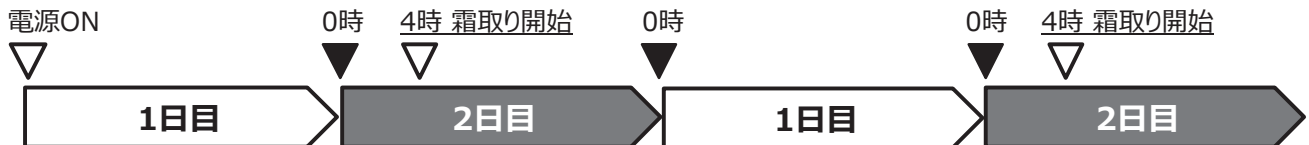
- 運転モードに戻ります



## 霜取り周期について

工場出荷時は **2日毎に1回 朝4時に霜取り運転を開始するように設定**しています。

日数は**0時**になった時点で日にちが進みます。



- 運転を開始する前に、時刻設定をおこなってください。 **P.14**

### 連結設置のショーケースについて

- 連結設置のショーケースは点検などで漏電遮断器を「OFF」すると、「OFF」したショーケースのみ霜取り周期がリセットされます。



連結している他のショーケースも全て、霜取り運転を同期するように再設定する必要があります。

漏電遮断器「OFF」、「ON」し、時刻設定をおこなってください。

(ご注意) 再設定をしない場合、霜取り運転の日がずれて冷却不良になる可能性があります。

# ご使用方法 つづき

## 霜取り運転周期を変更する

工場出荷時は 2日毎に1回 朝4時に霜取り運転を開始するように設定しています。

霜取り運転周期はコントローラから変更できます。

		コントローラ 表示内容
1	<p><b>モード切換</b> を3秒以上押し続ける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 設定モードに変更します。</li> </ul>	<p>(庫内温度表示から"uE"表示に変わります)</p>
2	<p><b>モード切換</b> を2回押し、モニタ記号 <b>n0</b> を選択する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 続けて押すと、モニタ記号は"uE"に戻ります。</li> </ul>	<p>1回 2回</p>
3	<p><b>棚</b> を3回押し、モニタ番号 <b>n3</b> を選択する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 続けて押すと、モニタ記号は"n0"に戻ります。</li> </ul>	<p>1回 2回 3回</p>
4	<p><b>温度設定</b> を押し、霜取り運転周期を表示する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 工場出荷時は2日毎の設定</li> </ul>	<p>(霜取り運転周期 2日毎の場合)</p>
5	<p><b>トップ</b> <b>棚</b> を押し、霜取り運転周期を変更する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● トップキー：設定値を下げるときに押します。</li> <li>● 棚キー：設定値を上げるときに押します。</li> <li>● 設定変更後の0時になった時点で日数が進みます。</li> </ul>	<p>例) 2日毎から3日毎に変更する場合</p> <p><b>棚</b> を1回押す ⇒  → </p> <p>例) 2日毎から1日毎に変更する場合</p> <p><b>トップ</b> を1回押す ⇒  → </p>
6	<p><b>温度設定</b> を押し、確定する</p>	<p>("n4"が表示されます)</p>
7	<p><b>モード切換</b> を3秒以上押し続ける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 運転モードに戻ります。</li> </ul>	<p>または </p> <p>(例 庫内温度-22℃の場合) (バーバー表示) 現在の庫内温度または、バーバーが表示されます</p>

## 霜取り運転開始時間を変更する

工場出荷時は 2日毎に1回 朝4時に霜取り運転を開始するように設定しています。

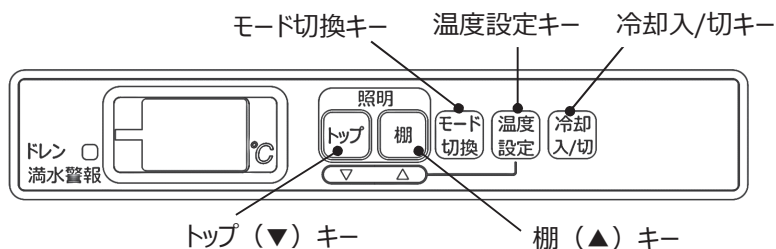
霜取り運転開始時刻は、コントローラから変更できます。

		コントローラ 表示内容
1	<p><b>モード切換</b> を3秒以上押し続ける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 設定モードに変更します。</li> </ul>	<p>- <b>uE</b> (庫内温度表示から"uE"表示に変わります)</p>
2	<p><b>モード切換</b> を5回押し、モニタ記号 <b>-d0</b> を選択する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 続けて押すと、モニタ記号は"uE"に戻ります。</li> </ul>	
3	<p><b>棚</b> を2回押し、モニタ番号 <b>-d2</b> を選択する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 続けて押すと、モニタ記号は"d0"に戻ります。</li> </ul>	
4	<p><b>温度設定</b> を押し、霜取り運転開始時刻を表示する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 工場出荷時は朝4時に霜取り運転開始の設定。</li> </ul>	<p>- <b>04</b> (除霜開始時刻 4時の場合)</p>
5	<p><b>トップ</b> <b>棚</b> を押し、霜取り運転開始時刻を変更する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● トップキー：設定値を下げるときに押します。</li> <li>● 棚キー：設定値を上げるときに押します。</li> </ul>	<p>例) 4時から5時に変更する場合  <b>棚</b> を1回押す - <b>04</b> → - <b>05</b></p> <p>例) 4時から3時に変更する場合  <b>トップ</b> を1回押す - <b>04</b> → - <b>03</b></p>
6	<p><b>温度設定</b> を押し、確定する</p>	<p>- <b>d3</b> ("d3"が表示されます)</p>
7	<p><b>モード切換</b> を3秒以上押し続ける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 運転モードに戻ります。</li> </ul>	<p>- <b>22</b> または - <b>--</b></p> <p>(例 庫内温度-22℃の場合) (バーバー表示)          現在の庫内温度または、バーバーが表示されます</p>

# ご使用方法 っづき

## コントローラ キー操作ロック機能について

いたづら防止のため、コントローラのキー操作をロック（操作禁止）することができます。



### キー操作ロックのパターン

設定値によって以下のキー操作ロック（操作禁止）パターンが選択できます。（設定方法 **P.21**）

設定値	ロックされる操作キー				
- 00	工場出荷時設定値です。キー操作ロックは解除されています。				
- 01	トップ	棚	モード切替	温度設定	冷却入/切
- 02			モード切替	温度設定	冷却入/切
- 03			モード切替		冷却入/切
- 04			モード切替		

### キー操作ロックされる内容





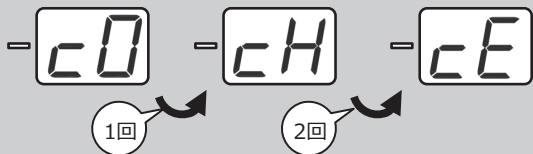

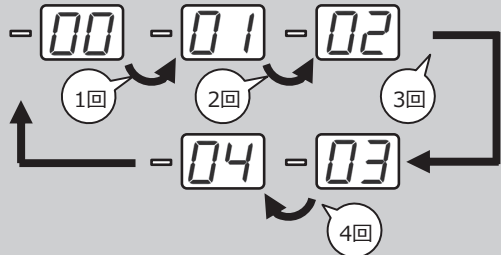

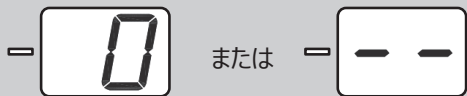
操作キー	キー操作ロックの内容
トップ 棚	照明ON/OFF操作や設定値変更操作をロックします。 （例 照亮点灯中に設定した場合は、操作をしても消灯しません）
モード切替	アフターサービス時の確認操作・設定値の変更操作をロックします。
温度設定	運転時の目標温度値変更操作をロックします。
冷却入/切	冷却運転の開始・停止操作をロックします。 （例 冷却運転中に設定した場合は、操作をしても冷却運転は停止しません）

キー操作ロック中に操作すると表示部に **LC** 表示されます。

キー操作ロック中は一時解除で操作可能になります。 **P.22**

## コントローラ キー操作ロックのしかた

キー操作ロックをしていない状態からキー操作ロックを設定するときは以下の手順で設定できます。

		コントローラ 表示内容
<b>1</b>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">モード 切換</div> <b>を3秒以上押し続ける</b> ●設定モードに変更します。	 (庫内温度表示から"uE"表示に変わります)
<b>2</b>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">モード 切換</div> <b>を1回押し、モニタ記号  を選択する</b> ●続けて押すと、モニタ記号は"uE"に戻ります。	
<b>3</b>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">トップ ▼</div> <b>を2回押し、モニタ番号  を選択する</b> ●続けて押すと、モニタ記号は"c0"に戻ります。	
<b>4</b>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">温度 設定</div> <b>を押し、設定値を表示する</b> ●キー操作ロックしていないときは"00"が表示されます。	 (キー操作ロックなし"00"の場合)
<b>5</b>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">棚 ▲</div> <b>を押し、設定値を変更する</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     00 : ロック解除                      01 : モード切換・温度設定・冷却入/切・照明をロック                      02 : モード切換・温度設定・冷却入/切 をロック                      03 : モード切換・冷却入/切 をロック                      04 : モード切換 をロック      詳細は <b>P.20</b> </div>	 <p>(内容に合わせて設定値を選択してください。)</p>
<b>6</b>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">温度 設定</div> <b>を押し、確定する</b>	 <p>(例 設定値"02"を設定の場合)</p>
<b>7</b>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">モード 切換</div> <b>を3秒以上押し続ける</b> ●運転モードに戻ります。	 <p>(例 庫内温度0℃の場合) (バーバー表示) 現在の庫内温度または、バーバーが表示されます</p>

# ご使用方法 つづき

## コントローラ キー操作ロック一時解除のしかた

キー操作ロック中に操作するときは、一時解除をしてください。

1



を3回押す

- 操作完了してから5分経過後、再びキー操作ロックされます。

コントローラ 表示内容



2回繰り返し表示ます。

## コントローラ キー操作ロック変更・解除のしかた

キー操作ロックの解除、変更は以下の手順でできます。

1



を3回押して操作可能にする

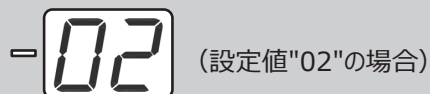
コントローラ 表示内容



2回繰り返し表示ます。

2

**P.21** の手順1~4で設定値を表示する

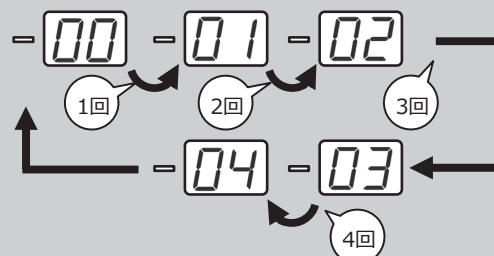


3



を押し、設定値を変更する

- 00 : ロック解除
  - 01 : モード切換・温度設定・冷却入/切・照明をロック
  - 02 : モード切換・温度設定・冷却入/切 をロック
  - 03 : モード切換・冷却入/切 をロック
  - 04 : モード切換 をロック
- 詳細は **P.20**

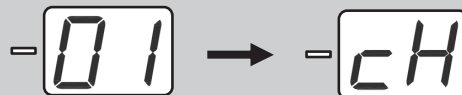


(内容に合わせて設定値を選択してください。)

4



を押し、確定する



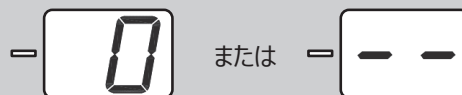
(例 設定値"01"を設定の場合)

5



を3秒以上押し続ける

- 運転モードに戻ります。



(例 庫内温度0°Cの場合) (バーバー表示)  
現在の庫内温度または、バーバーが表示されます

## ドレン満水警報の解除のしかた

蒸発皿が満水になるとコントローラのドレン満水警報を点滅してお知らせします。

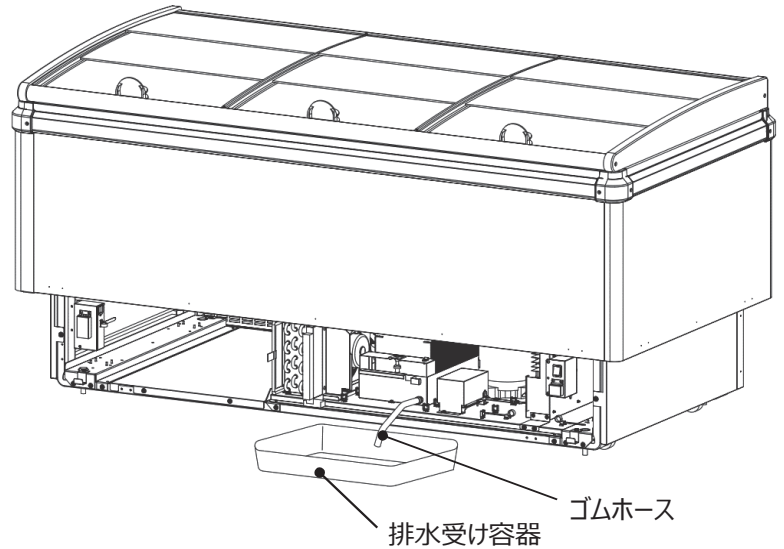
以下の手順で解除してください。

### 1 点検蓋をはずす

- 点検蓋は上側を手前に引いて、上に持ち上げるとはずれます。

### 2 ゴムホースを蒸発皿の固定からはずして排水する

- 排水するときは、排水受け容器を用意してください。
- 排水後は必ずゴムホースを元の位置に戻してください。



#### 頻繁にドレン満水警報が発報するときは

- 蒸発板のお手入れをしてください。 **P.28**
- お手入れをしても頻繁にドレン満水警報が発報するときは、新しい蒸発板に交換してください。
- 蒸発板は消耗品です。2年を目安に交換してください。
- 環境によっては蒸発板の性能低下が進み、1年前後で交換になる場合があります。  
(粉塵・油分の多い場所・温度・湿度の高い環境など)
- 蒸発板はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

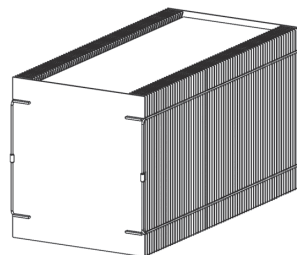
## 消耗品

右記の部品は消耗品です。必要に応じて交換してください。

ご注文はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

交換目安はご使用方法・環境により変化します。

蒸 発 板 (交換目安:2年)



サービス部品番号  
R22047868

# お手入れと点検

製品を長く、清潔にご使用いただくために  
定期的にお手入れ・点検をしてください。

## お手入れ・点検箇所と頻度

### 電源プラグ

お手入れ：半年に1回

P.29

### ドレンロ・ドレン溝

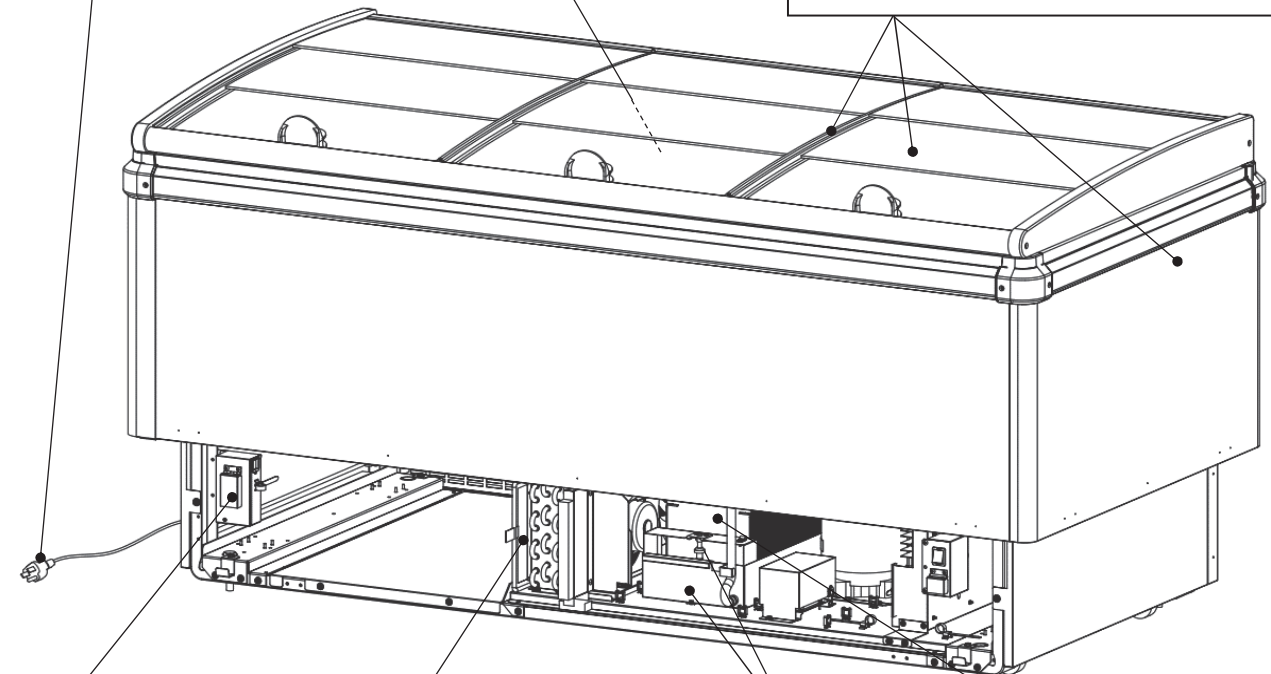
お手入れ：月に1回

P.27

### 外装・庫内・ガラス扉・スライドレール

お手入れ：日常

- 水を含ませたやわらかい布で拭いてください。
- 落ちにくい汚れの場合は、うすめた台所用洗剤（中性洗剤）を含ませた布で拭いたあと、水を含ませた布で拭き取ってください。
- ガラス扉は、乾いた布で仕上げ拭きすると、くもりが残りにくくなります。
- 洗剤は原液のまま使用しないでください。



### 漏電遮断器

点検：半年に1回

P.29

### フィルター

お手入れ：月に1回以上

P.26

### 蒸発皿・水位センサ

点検：日常

(特に梅雨時期や夏場)

P.30

### 蒸発板

お手入れ：半年に1回

P.28

### お願い

●以下のものは使用しないでください。

(傷つき・腐食・変色・変形の原因になります)

- ◆台所用洗剤（中性洗剤）以外の洗剤
- ◆ベンジン・シンナー・漂白剤・クレンザー・アルコール
- ◆スチールタワシ・タワシ
- ◆熱湯・酸



ショーケースに直接水を  
かけない  
漏電・感電の原因

## お手入れ・点検をする前に

お手入れのときは必ず下記の手順で冷却運転を停止し、安全のために漏電遮断器を切ってください。

※ただし、フィルターのお手入れや水位センサ、漏電遮断器の点検をおこなう場合はこの操作は不要です。

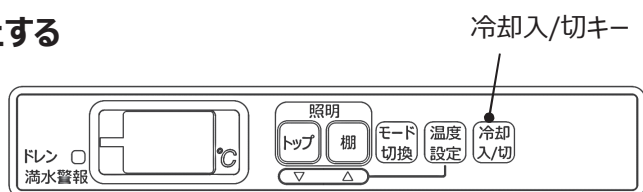
それぞれのお手入れ・点検については、該当ページの手順に従って実施してください。

1

冷却  
入/切

を3秒以上押し、冷却運転を停止する

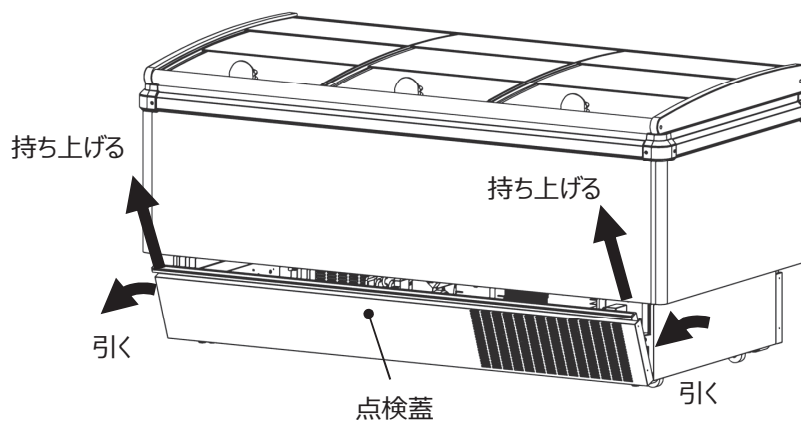
- 漏電遮断器を切る前に必ず冷却運転を停止してください。



2

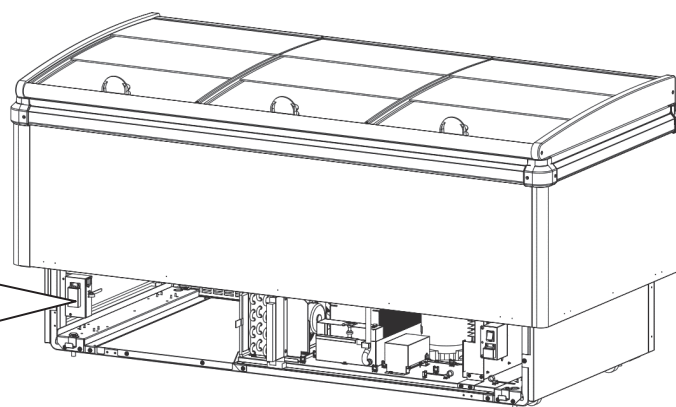
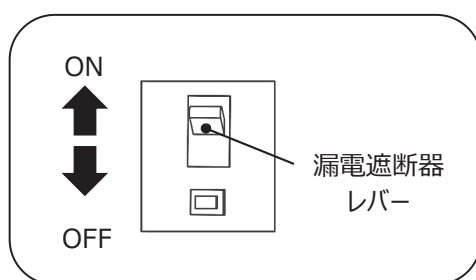
点検蓋をはずす

- 点検蓋は上側を手前に引いて、上に持ち上げるとはずれます。



3

漏電遮断器レバーを「OFF」にする



**警告**

お手入れや点検のときは  
必ず漏電遮断器を切る  
感電・ケガの原因

お手入れ・点検が終わりましたら、逆の手順で冷却運転を開始してください。

連結設置のショーケースは、お手入れのあとは必ず霜取り運転を同期するように再設定してください。

再設定をしない場合、霜取り運転の日がずれて冷却不良になる可能性があります。P.17

# お手入れと点検 つづき

## お手入れのしかた

フィルター お手入れ：月に1回以上

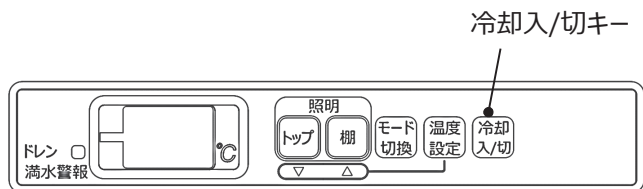
ほこりがたまった状態で運転を続けると、冷却能力低下や安全に運用するための保護機能により冷却運転停止の原因になります。

1



を3秒以上押し、

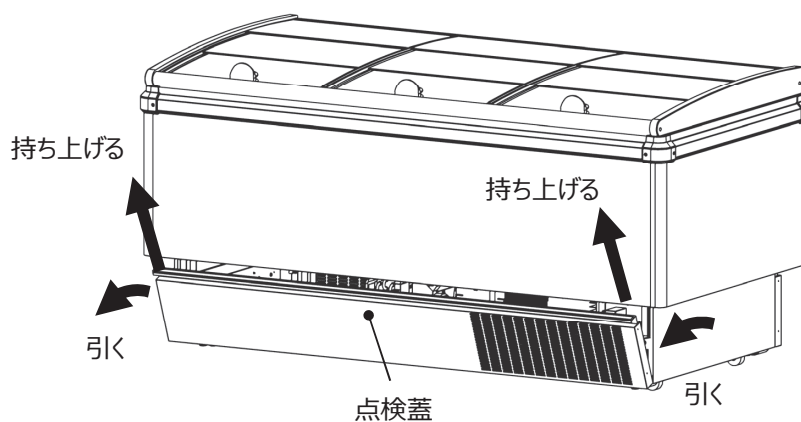
冷却運転を停止する



2

点検蓋をはずす

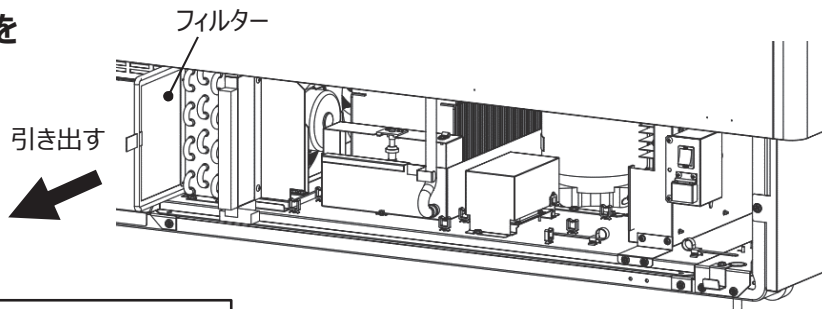
- 点検蓋は上側を手前に引いて、上に持ち上げるとはずれます。



3

フィルターを引き出してほこりをよく取り除く

- 掃除機や、やわらかいブラシで取り除いてください。



**注意**

フィルター清掃時は凝縮器フィンに直接手を触れない  
ケガの原因

お手入れが終わりましたら、フィルターを正しい向きに入れ直し、運転を再開してください。

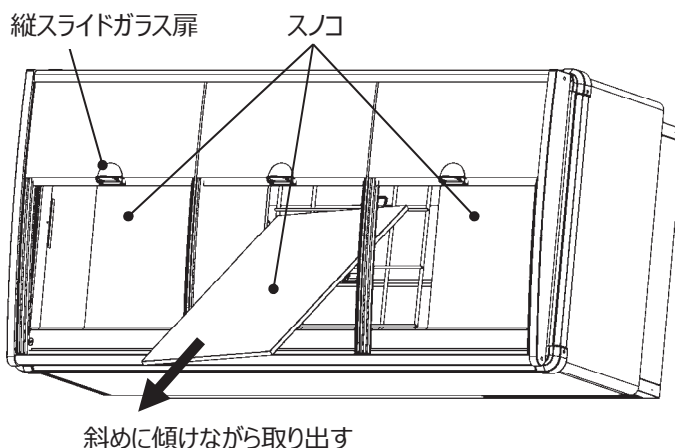
ドレン口がつまった状態で使用すると、ドレン水が排水されず、庫内に水があふれる原因になります。

## 1 P.25 の手順で漏電遮断器を「OFF」にする

- お手入れのときは電源を切ってください。

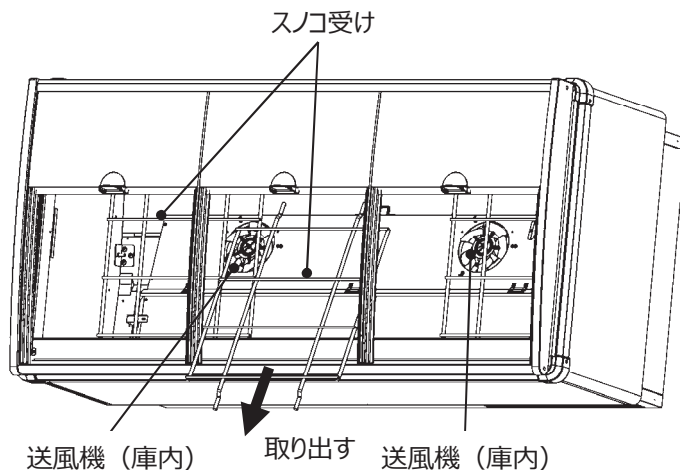
## 2 スノコを中央のガラス扉から取り出す

- 左右のスノコについても、中央のガラス扉から取り出してください。
- SV-JF584,582形は扉2枚仕様です。左右扉からそれぞれのスノコを取り出してください。



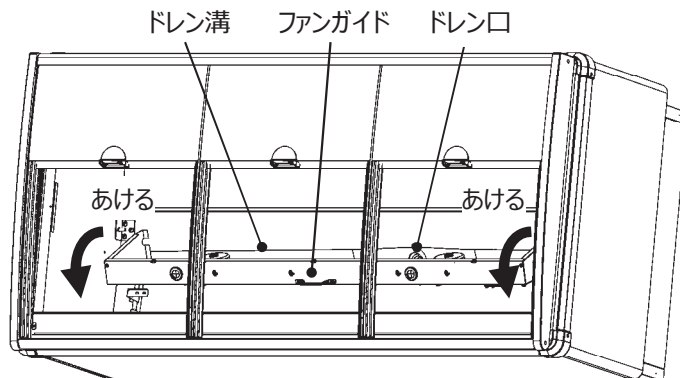
## 3 スノコ受けを取りはずし、ガラス扉から取り出す

- スノコ受けはそれぞれのガラス扉から取り出すことができます。



## 4 庫内ファンガイドをあげる ドレン口やドレン溝に異物や 詰りがあるときは取り除く

- ドレン口に直接水を流して清掃しないでください。水漏れの原因になります。
- 汚れがある場合は水を含ませた布で拭いてください。
- 送風機 (庫内) に水がかからないようにご注意ください。送風機故障の原因になります。



# お手入れと点検 つづき

蒸発板 お手入れ：半年に1回

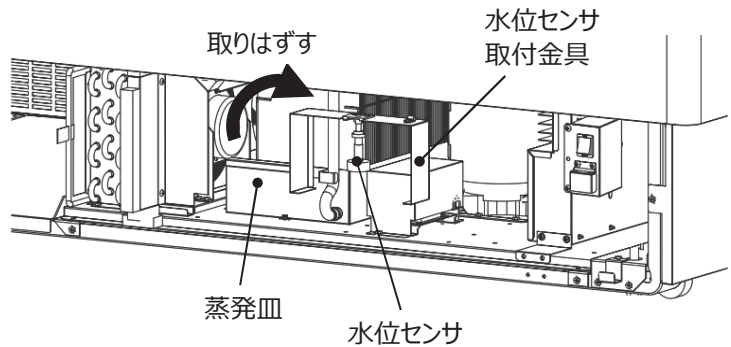
蒸発板に汚れが付着していると、蒸発性能低下による水漏れの原因になります。

## 1 P.25 の手順で漏電遮断器を「OFF」にする

- お手入れのときは電源を切ってください。

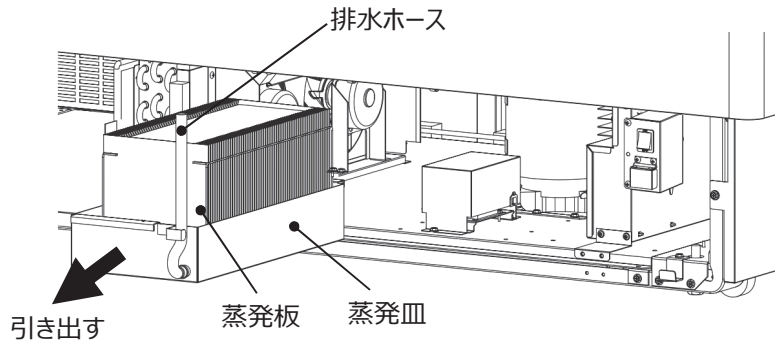
## 2 水位センサを取付金具ごと蒸発皿から取りはずす

- 水位センサの配線を強く引っ張らないように取りはずしてください。



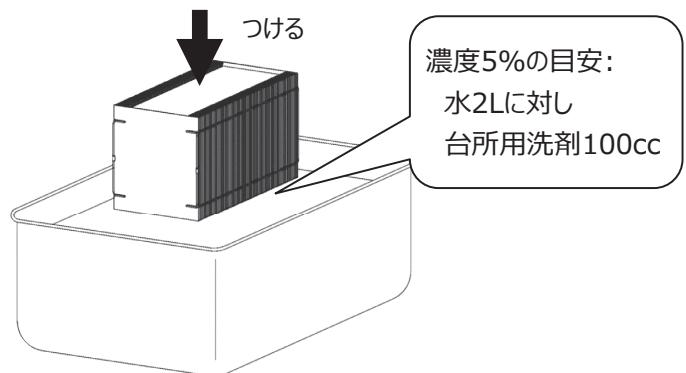
## 3 蒸発皿と蒸発板を引き出し 蒸発皿のみ元の位置に戻す

- 蒸発皿にドレン水が残っている場合は排水ホースで排水をしてから、引き出してください。
- 蒸発板をお手入れする間ドレン水を受けるため蒸発皿を元に戻してください。



## 4 蒸発板を台所用洗剤（中性洗剤）を濃度5%にうすめた液に30秒ほどつける

- 蒸発板は水を含むと重くなります。持ち上げるときは蒸発板の底面を支えてください。
- 蒸発板をブラシなどでこすらないでください。



## 5 水でよく洗い流す

- 洗剤分が残っていると蒸発板のフレームがさびる原因になります。

### 蒸発板の交換について

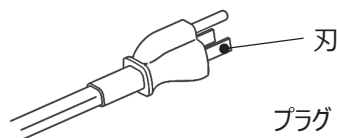
- お手入れをしても頻りにドレン水が残っているときは、新しい蒸発板に交換してください。
- 蒸発板は消耗品です。2年を目安に交換してください。
- 環境によっては蒸発板の性能低下が進み、1年前後で交換になる場合があります。（粉塵・油分の多い場所・温度・湿度の高い環境など）

## 電源プラグ お手入れ：半年に1回

ほこりがたまった状態で使用すると、絶縁不良による火災の原因になります。

### 1 P.25 の手順で漏電遮断器を「OFF」にする

- お手入れのときは電源を切ってください。



### 2 電源プラグや刃のほこりをよく取り除く

- 水ぶきや水洗いはしないでください。

### 3 電源プラグをコンセントの根元まで確実に差し込む



**注意**

電源プラグは、がたのないように刃の根元まで確実に差し込む  
火災・感電の原因

## 点検のしかた

## 漏電遮断器 点検：半年に1回

故障した状態でご使用されますと、感電の原因になります。

### 1 運転を停止してから、点検蓋をはずす

P.15

- 点検は電源が入っている状態で行ってください。

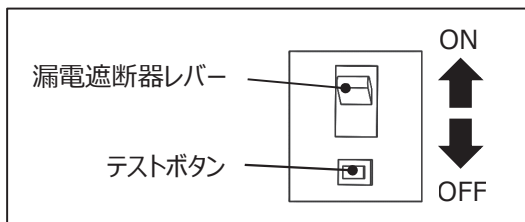


**警告**

漏電遮断器は定期的に動作を確認する  
火災・感電の原因

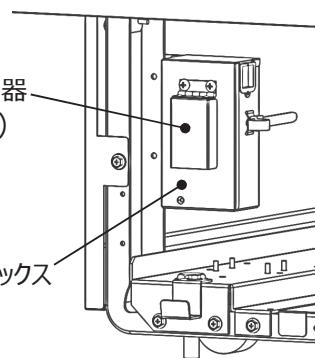
### 2 漏電遮断器のテストボタンを押す

- 正しく作動すると、レバーが「OFF」になります。



漏電遮断器  
(カバー内)

ブレーカボックス



### 3 作動確認後、漏電遮断器レバーの位置を「OFF」から「ON」にする

#### 点検時に正しく漏電遮断器が作動しないとき

運転を停止して、必ず電源プラグをコンセントから抜き、商品を別のショーケースに移すなど処置した上で、お買上の販売店にご連絡ください。

# お手入れと点検 っづき

## 蒸発皿 点検：日常（特に梅雨時期や夏場）

水漏れを防止するために、蒸発皿にドレン水が残っていないか定期的に点検をしてください。

### 1 P.25 の手順で漏電遮断器を「OFF」にする

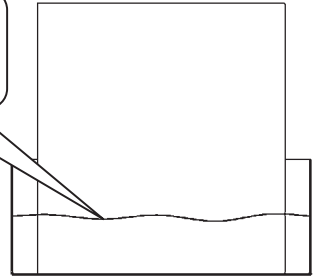
- 点検のときは電源を切ってください。

### 2 蒸発皿にドレン水が残っていないか確認し、残っているときは排水をする

- 蒸発皿深さ半分くらいのドレン水が頻繁に残っているときは蒸発板の性能が低下しているおそれがあります。蒸発板のお手入れをするか、新しい蒸発板に交換してください。

P.23 P.28

水位目安：  
蒸発皿深さの半分



## 水位センサ 点検：日常（特に梅雨時期や夏場）

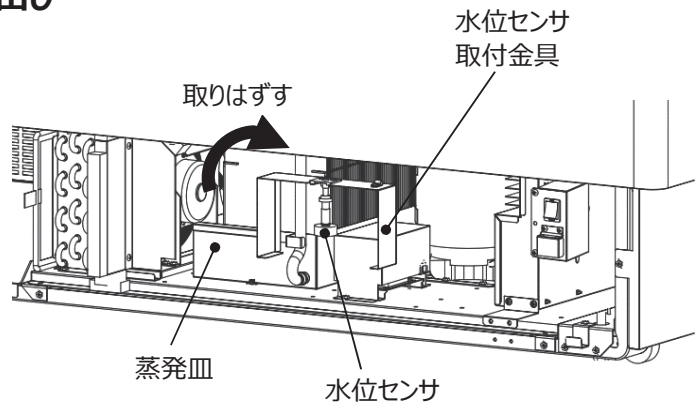
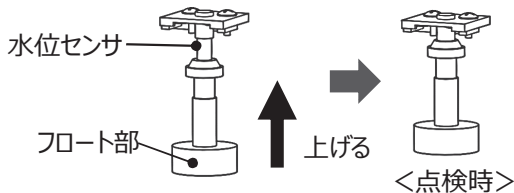
水位センサが正常に作動するか定期的に点検をしてください。

### 1 点検蓋をはずす

- 点検は電源が入っている状態でおこなってください。

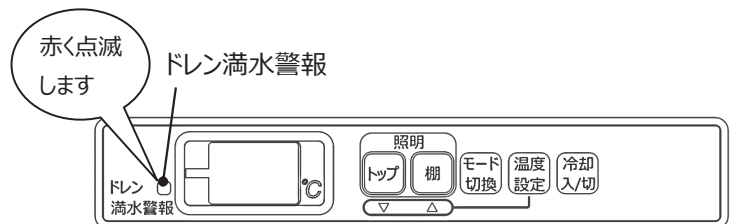
### 2 水位センサ取付金具を蒸発皿から取り出しフロート部を上持ち上げる

- フロート部を持ち上げることによって、簡易的に水がたまっていると同様の状態にします。



### 3 コントローラのドレン満水警報が点滅することを確認する

- ドレン満水警報が点滅しないときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。



点検が終わりましたら、フロート部を下げて元に戻してください。


# 故障かな?と思ったら

修理をご依頼される前に以下の項目をお調べください。お調べになっても不具合がある場合は運転を停止して、必ず漏電遮断器を切ってから電源プラグを抜き、商品を別のショーケースに移すなど処置した上でお近くの販売店にご連絡ください。

現象	原因の確認	処置方法
運転しない	停電ではありませんか。	停電解消までお待ちください。 停電解消ののち、運転を再開します。
	お店の電源ヒューズや配線用漏電遮断器が切れていませんか。	お店の電源ヒューズや配線用遮断器をご確認ください。
	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	電源プラグや刃のほこりをよく取り除き根元まで確実に差し込んでください。
	ショーケースの漏電遮断器が「OFF」になっていませんか。	漏電遮断器を「ON」にしてください。
	 が表示されていませんか。	冷却運転停止中です。 冷却運転を開始してください。 <b>P.15</b>
	 が表示されていませんか。	霜取り運転をおこなっています。(最長75分) 霜取り終了後、運転を再開します。 <b>P.11</b>
音がうるさい	温度調整運転中ではありませんか。	庫内温度が規定値に達すると運転を再開します。 しばらく経ってから圧縮機が運転しているか確認してください。
	運転停止後5分以内で運転を再開していませんか。	運転停止後、5分以内に再開した場合は、圧縮機は5分経過後に運転を開始します。
	床がしっかりしたところに据え付けていますか。	水平で床が丈夫な場所に据え付けてください。 <b>P.12</b>
	ショーケースが壁や物などに当たっていませんか。	ショーケースが壁や物などに当たらないように据え付け位置を調整してください。

# 故障かな?と思ったら つづき

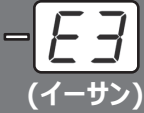
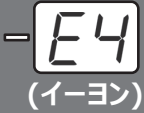
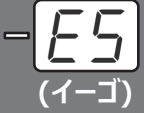
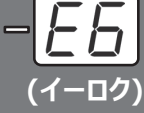
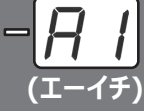
現象	原因の確認	処置方法
よく冷えない	ショーケースの吸気・排気スペースを確保していますか。	機械室の吸気・排気のために10cm以上すきまをあけてください。 <b>P.12</b>
	直射日光があたったり、近くに熱源はありませんか。	周囲の温度が上昇し、冷却性能が悪くなる原因になりますので据え付け場所を調整してください。 <b>P.12</b>
	ショーケースのガラス扉をあけてご使用されていませんか。しまり具合にがたつき、すきまはありませんか。	ショーケース庫内に外気が入りやすくなります。ガラス扉をしめてご使用ください。定期的にガラス扉の開閉状態を確認ください。
	 が表示されていませんか。	冷却運転停止中です。冷却運転を開始してください。 <b>P.15</b>
	フィルターが目詰まりしていませんか。	フィルターのお手入れをしてください。 <b>P.26</b>
	冷凍運転の時に温度切替スイッチを『冷蔵』でご使用されていませんか。	温度切替スイッチを確認し、正しい温度帯でご使用ください。 <b>P.16</b>
	庫内目標温度の設定値が高くなっていませんか。	保冷商品に合わせて、設定値を調整してください。 <b>P.17</b>
蒸発皿にドレン水が頻繁にたまる	ショーケースのガラス扉をあけてご使用されていませんか。しまり具合にがたつき、すきまはありませんか。	ショーケース庫内に外気が入りやすくなり、ドレン水が増える原因になります。ガラス扉をしめてご使用ください。定期的にガラス扉の開閉状態を確認ください。
	蒸発板がよごれていませんか。	蒸発板のお手入れをしてください。それでも良くならない場合は新しい蒸発板に交換してください。 <b>P.28</b>

現象	原因の確認	処置方法
<p>外装・庫内 ・ガラス扉 に露が付く</p>	<p>ショーケース周囲の湿度が高かったり ガラス扉をあけてご使用されていま せんか。</p>	<p>湿度の調整、またはガラス扉をしっかりと めてください。ガラス扉の露は乾いたや わらかい布でやさしく拭き取ってくだ さい。湿った状態が続くと、ガラスレ ールなどにカビが生じることがありま す。</p>
<p>ドレン 満水警報が 赤く点滅する</p> <p>ドレン <input type="checkbox"/> 満水警報</p>	<p>蒸発皿が満水です。 蒸発性能が低下しているおそれが あります。 蒸発板がよごれていませんか。</p>	<p>蒸発皿の水を捨ててください。 蒸発板のお手入れをしてください。 それでも良くならない場合は新しい 蒸発板に交換してください</p> <p><b>P.23</b> <b>P.28</b></p>
<p>コントローラ の操作が できない</p>	<p> が表示されていませんか。</p>	<p>キー操作ロックの一時解除または、解除 をしてください。</p> <p><b>P.22</b></p>

# 故障かな?と思ったら つづき

## コントローラ にエラー表示が出たときは

庫内温度表示と以下の表示が交互に表示されているときは、原因の確認と処置をおこなってください。

現象	原因の確認	処置方法	
	圧縮機が高温になっています。 フィルターが目詰まりしていませんか。	コントローラの『冷却入/切』キーを3秒以上長押しをして冷却運転を停止し、フィルター清掃した後、冷却運転を再開してください。 <b>P.26</b>  ● 冷却入/切キーを「OFF」にしない状態で処置を行なうと、エラー表示は消えません。 また、「E4」エラー発報時は上記操作をしない場合、運転復帰しませんので、ご注意ください。	
	圧縮機の吐出圧力が高くなっています。		
	吐出配管が高温になっています。 フィルターが目詰まりしていませんか。		
	停電で電源が一度切れて復帰しています。コントローラの時刻がずれていませんか。		コントローラの時刻合わせをおこなってください。 <b>P.14</b>
	送風機（凝縮器）の風量低下 または、送風機・センサが故障しています。		速やかにお買い上げ販売店または、メンテナンス業者へのご連絡ください。

## その他の表示が出たときは

つぎのような表示が出ているときは部品が故障している可能性があります。

運転を停止して、必ず電源プラグをコンセントから抜き、商品を別のショーケースに移すなど処置した上で、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- 上記以外の表示が庫内温度と交互表示しているとき
- 庫内温度表示が点滅（点滅周期 3秒点灯 0.5秒消灯しているとき）

次の表示は故障ではありません

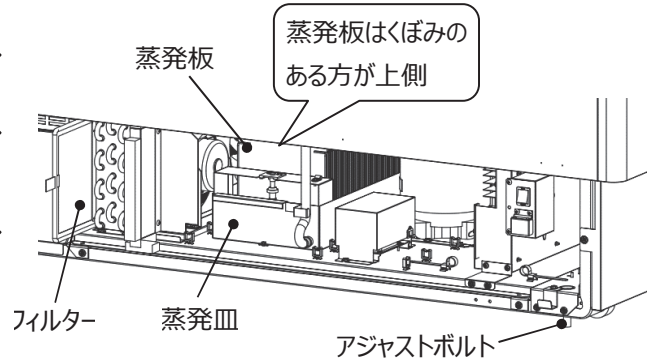
- ◇ 庫内温度表示が点滅周期 0.5秒点灯 0.5秒消灯で点滅しているときは除霜禁止モードの設定になっています。コントローラの温度設定キーを2回押しして点滅が解除されるか確認してください。
- ◇ “Pd”が表示されているときは、霜取り運転後の急冷中です。庫内温度が目標設定温度+3℃以下になるか、また霜取り運転終了から1時間経過後に庫内温度表示に戻ります。

# 据付工事確認と試運転

試運転を行うときは、立ち会ってください。運転手順、安全を確保するための正しい使い方について、据付実施者から説明を受けてください。

## 据付工事完了時の確認事項

- アジャストボルトで固定されていますか。  **P.13**
- ショーケースの吸気・排気スペースは  **P.12**  
確保されていますか。
- アース端子付きのコンセントにプラグを  **P.13**  
差し込んでいますか。
- フィルターが奥まで挿入されていますか。
- 蒸発皿の位置のずれや、蒸発板が上下逆になっていませんか。
- 据付実施者から以下の説明は受けましたか。



- (1) ショーケースの吸気口・排気口をふさがない。 **P.12**
- (2) コントローラーに  $\square$  **A1** (エーイチ) エラー表示がされた場合は販売店、またはメンテナンス業者に速やかに連絡をおこなう。

# 保管・移設・廃棄について

## 長期間ご使用にならないとき

- 庫内の商品を全て取り出し、安全のために電源プラグはコンセントから抜いてください。
- 水のかかる場所や湿気が多いところ、腐食性ガスが発生しやすい場所には保管しないでください。
- 直射日光のあたるところには保管しないでください。
- 製品を保管するときは幼児が立ち入る場所をさけてください。
- ドレン口・ドレン溝とその周りをきれいに清掃し、水分を十分に拭きとったあと、よく乾燥をしてください。
- 蒸発板は、お手入れをして乾かしてください。

## 移設をするとき

- 移設は当社代理店または販売店にご依頼ください。
- 取扱説明書と「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」(別紙)を製品の目立つところに添付してください。

## 廃棄をするとき

- このショーケースは可燃性冷媒を使用していますので、廃棄するときは専門業者に依頼し、可燃性冷媒を使用している旨をお伝えください。
- 廃棄時は、長期間放置せずに、速やかに専門業者に引き渡してください。

# 付属品について

## 付属品

### POP板金



(裏面 粘着テープ付き)

SV-JF584,582形

数量 2枚

SV-JF684,682,784,782形

数量 3枚

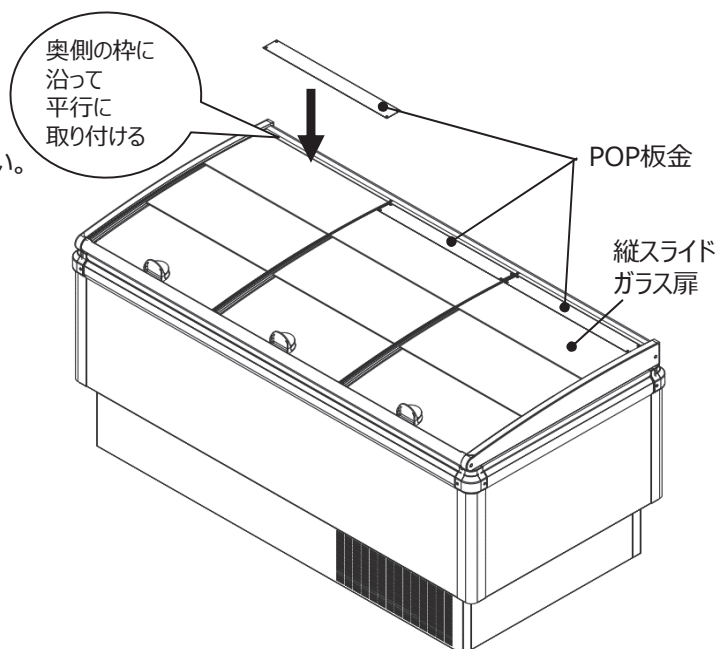
SV-JF884,882形

数量 4枚

### POP板金について

ガラス扉にPOPを取り付けることができます。  
裏面の粘着テープ剥離紙をはがし、取り付けてください。

- POP板金はガラス扉上、奥側の枠に沿って平行に取り付けてください。  
ガラス扉は丸みを帯びております。  
右図のように平行になるように取り付けてください。
- POPは市販品のマグネット式をご使用ください。



# 仕様

項目		形名			
		SV-JF584JRVA	SV-JF582JRVA-R		
用途	冷凍	アイスクリーム・冷食			
	冷蔵	精肉・鮮魚～惣菜			
庫内温度設定範囲	℃	(冷凍) -25 ~ -18			
		(冷蔵) -6 ~ 18			
電源	-	単相100V 50/60Hz			
本体	外形寸法	高さ	mm	888	866
		幅	mm	1500	1390
		奥行	mm	890	880
	展示面積	m <sup>2</sup>	0.96		
	定格内容積	L	221		
	外装	-	表面処理鋼板焼付塗装及び樹脂成型品・ガラス		
	内装	-	表面処理鋼板焼付塗装		
	冷却室	-	亜鉛メッキ鋼板		
	断熱材	-	ウレタン注入発泡(断熱発泡ガスHFO)		
	脚部	-	ナイロン車輪径Φ50自在キャスター (ストッパー無し)	-	
冷凍装置	圧縮機	形式	-	全密閉形 ローター式インバータ	
		呼称出力	W	400	
		冷却器	-	クロスフィン(強制通風式)	
	冷媒	凝縮器	-	クロスフィン(強制通風式)	
		制御方式	-	電子式膨張弁	
		種類	-	R290(プロパン)	
		冷媒量	g	140	
	地球温暖化係数(GWP)	-	3		
	最大許容圧力	MPaG	2.0		
	除霜方式	-	ヒータ方式		
温度制御	-	マイコン制御			
製品質量	kg	146	131		
標準装備	-	デジタル温度計(コントローラ),漏電遮断器,ドレン強制蒸発装置(満水警報付き), アジャストボルト(4本),縦スライドガラス扉			
付属品	-	POP板金(2枚)			
オプション	-	バンパー(樹脂製), コーナーカバー(ステンレス製), Φ75キャスター(ストッパー無し), 外装塗装,内装塗装,庫内ステンレス, 庫内照明	バンパー(樹脂製), コーナーカバー(ステンレス製), Φ50キャスター(ストッパー無し), Φ75キャスター(ストッパー無し), 外装塗装,内装塗装,庫内ステンレス, 庫内照明		
別売部品	-	無電圧出力キット	無電圧出力キット, 連結キット		

品質向上のため、おことわりなく一部仕様を変更する場合がございます。

# 仕様 つづき

項目		形名	SV-JF684JRVA	SV-JF682JRVA-S	SV-JF682JRVA-R
用途	冷凍		アイスクリーム・冷食		
	冷蔵		精肉・鮮魚～惣菜		
庫内温度設定範囲	℃		(冷凍) -25 ~ -18		
			(冷蔵) -6 ~ 18		
電源	-		単相100V 50/60Hz		
本体	外形寸法	高さ	mm	888	866
		幅	mm	1800	1690
		奥行	mm	890	880
	展示面積	m <sup>2</sup>	1.17		
	定格内容積	L	268		
	外装	-	表面処理鋼板焼付塗装及び樹脂成型品・ガラス		
	内装	-	表面処理鋼板焼付塗装		
	冷却室	-	亜鉛メッキ鋼板		
	断熱材	-	ウレタン注入発泡 (断熱発泡ガスHFO)		
	脚部	-	ナイロン車輪径Φ50自在 キャスター(ストッパー無し)	-	
冷凍装置	圧縮機	形式	-	全密閉形 ローター式インバータ	
		呼称出力	W	550	
		冷却器	-	クロスフィン (強制通風式)	
	冷媒	凝縮器	-	クロスフィン (強制通風式)	
		制御方式	-	電子式膨張弁	
		種類	-	R290 (プロパン)	
		冷媒量	g	215	
	地球温暖化係数 (GWP)	-	3		
	最大許容圧力	MPaG	2.0		
	除霜方式	-	ヒータ方式		
温度制御	-	マイコン制御			
製品質量	kg	163	152		
標準装備	-	デジタル温度計(コントローラ),漏電遮断器,ドレン強制蒸発装置(満水警報付き), アジャストボルト(4本),縦スライドガラス扉			
付属品	-	POP板金(3枚)			
オプション	-	バンパー(樹脂製), コーナーカバー(ステンレス製), Φ75キャスター(ストッパー無し), 外装塗装,内装塗装, 庫内ステンレス, 庫内照明	バンパー(樹脂製), コーナーカバー(ステンレス製), Φ50キャスター(ストッパー無し), Φ75キャスター(ストッパー無し), 外装塗装,内装塗装,庫内ステンレス, 庫内照明		
別売部品	-	無電圧出力キット	無電圧出力キット, 連結キット		

品質向上のため、おことわりなく一部仕様を変更する場合がございます。

項目		形名		SV-JF784JRVA	SV-JF782JRVA-R	
		用途	冷凍 冷蔵	アイスクリーム・冷食 精肉・鮮魚～惣菜		
庫内温度設定範囲		℃	(冷凍) -25 ~ -18 (冷蔵) -6 ~ 18			
電源		-	単相100V 50/60Hz			
本体	外形寸法	高さ	mm	888	866	
		幅	mm	2100	1990	
		奥行	mm	890	880	
	展示面積		m <sup>2</sup>	1.37		
	定格内容積		L	316		
	外装		-	表面処理鋼板焼付塗装及び樹脂成型品・ガラス		
	内装		-	表面処理鋼板焼付塗装		
	冷却室		-	亜鉛メッキ鋼板		
	断熱材		-	ウレタン注入発泡 (断熱発泡ガスHFO)		
	脚部		-	ナイロン車輪径Φ50自在キャスター (ストッパー無し)	-	
冷凍装置	圧縮機	形式	-	全密閉形 ローター式インバータ		
		呼称出力	W	400		
		冷却器	-	クロスフィン (強制通風式)		
	凝縮器		-	クロスフィン (強制通風式)		
	冷媒	制御方式		-	電子式膨張弁	
		種類		-	R290 (プロパン)	
		冷媒量		g	225	
		地球温暖化係数 (GWP)		-	3	
	最大許容圧力		MPaG	2.0		
	除霜方式		-	ヒータ方式		
温度制御		-	マイコン制御			
製品質量		kg	182	171		
標準装備		-	デジタル温度計(コントローラ),漏電遮断器,ドレン強制蒸発装置(満水警報付き), アジャストボルト(4本),縦スライドガラス扉			
付属品		-	POP板金(3枚)			
オプション		-	バンパー(樹脂製), コーナーカバー(ステンレス製), Φ75キャスター(ストッパー無し), 外装塗装,内装塗装,庫内ステンレス, 庫内照明	バンパー(樹脂製), コーナーカバー(ステンレス製), Φ50キャスター(ストッパー無し), Φ75キャスター(ストッパー無し), 外装塗装,内装塗装,庫内ステンレス, 庫内照明		
別売部品		-	無電圧出力キット	無電圧出力キット, 連結キット		

品質向上のため、おことわりなく一部仕様を変更する場合がございます。

# 仕様 っづき

項目		形名		SV-JF884JRVA	SV-JF882JRVA-R
		冷凍	冷蔵	アイスクリーム・冷食 精肉・鮮魚～惣菜	
用途					
庫内温度設定範囲	℃		(冷凍) -25 ~ -18 (冷蔵) -6 ~ 18		
電源	-		単相100V 50/60Hz		
本体	外形寸法	高さ	mm	888	866
		幅	mm	2400	2290
		奥行	mm	890	880
	展示面積	m <sup>2</sup>	1.58		
	定格内容積	L	363		
	外装	-	表面処理鋼板焼付塗装及び樹脂成型品・ガラス		
	内装	-	表面処理鋼板焼付塗装		
	冷却室	-	亜鉛メッキ鋼板		
	断熱材	-	ウレタン注入発泡(断熱発泡ガスHFO)		
	脚部	-	ナイロン車輪径Φ50自在キャスター (ストッパー無し)	-	
冷凍装置	圧縮機	形式	-	全密閉形 ローター式インバータ	
		呼称出力	W	550	
		冷却器	-	クロスフィン(強制通風式)	
	凝縮器	-	クロスフィン(強制通風式)		
	冷媒	制御方式	-	電子式膨張弁	
		種類	-	R290(プロパン)	
		冷媒量	g	235	
		地球温暖化係数(GWP)	-	3	
	最大許容圧力	MPaG	2.0		
	除霜方式	-	ヒータ方式		
温度制御	-	マイコン制御			
製品質量	kg	203	193		
標準装備	-	デジタル温度計(コントローラ),漏電遮断器,ドレン強制蒸発装置(満水警報付き), アジャストボルト(4本),縦スライドガラス扉			
付属品	-	POP板金(4枚)			
オプション	-	バンパー(樹脂製), コーナーカバー(ステンレス製), Φ75キャスター(ストッパー無し), 外装塗装,内装塗装,庫内ステンレス, 庫内照明	バンパー(樹脂製), コーナーカバー(ステンレス製), Φ50キャスター(ストッパー無し), Φ75キャスター(ストッパー無し), 外装塗装,内装塗装,庫内ステンレス, 庫内照明		
別売部品	-	無電圧出力キット	無電圧出力キット, 連結キット		

品質向上のため、おことわりなく一部仕様を変更する場合がございます。

## 連結・アイランド設置の形名について

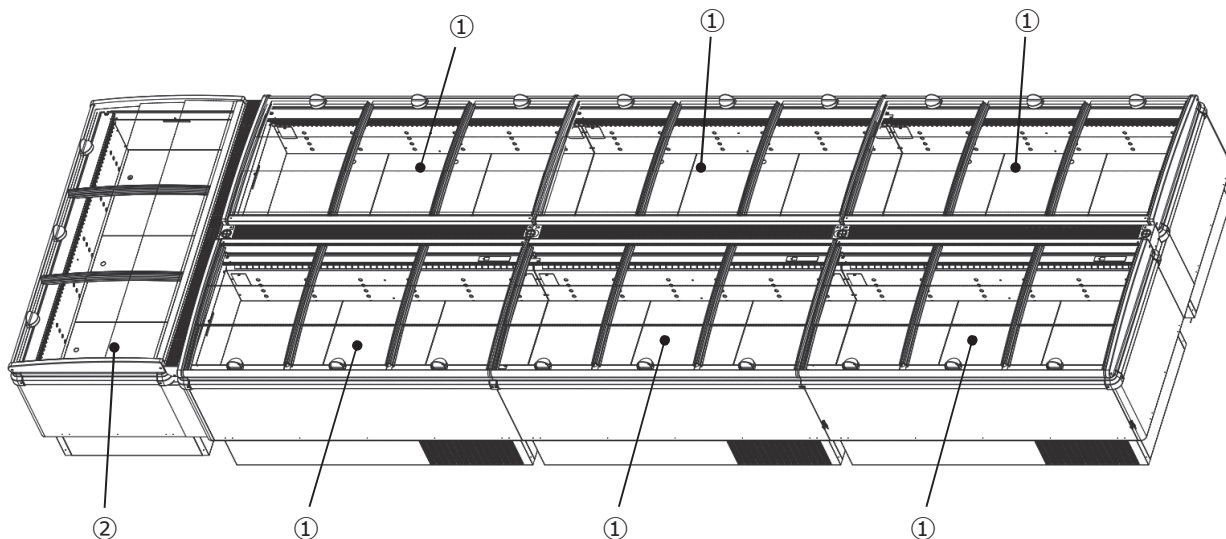
連結設置やアイランド設置用の形名をご準備しております。

別売部品と組み合わせ設置ください。

機種選定、別売部品、据え付けについては当社代理店、販売店にご相談ください。

尺数※ (ケース幅)	単体設置用形名	連結・アイランド設置用形名	
		①連結設置用	②エンド設置用
5尺	SV-JF584JRVA	SV-JF582JRVA-R	-
6尺	SV-JF684JRVA	SV-JF682JRVA-R	SV-JF682JRVA-S
7尺	SV-JF784JRVA	SV-JF782JRVA-R	-
8尺	SV-JF884JRVA	SV-JF882JRVA-R	-

※ 詳細な寸法は仕様書をご覧ください。



【アイランド設置イメージ図】

# MEMO

---

# MEMO

---

# 保証とアフターサービス

## ■保証書（別添付）

- 「保証書」は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 「保証書」は内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
- 本製品をご使用の際は、必ず取扱説明書に記載された内容をお守りください。記載事項に従わずにご使用の場合、仕様上の不具合や故障の発生、不随的損害(保管商品)も保証の対象外となることがありますのであらかじめご了承ください。

### 保証期間

お買い上げ日から1年間です。  
(冷凍サイクル用部品は2年間です。)

## ■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、このショーケースの補修用性能部品の製造打切後12年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ■ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買い上げの販売店が「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」（別紙）にご相談ください。

## ■修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」(P.31～P.34)にしたがってお調べください。

- なお、不具合がある場合は運転を停止して必ず電源プラグを抜き、商品を別のショーケースに移すなど処置した上で、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 保証期間中は  
保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

## ●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。点検・診断のみでも有料になることがあります。

## ●修理料金は

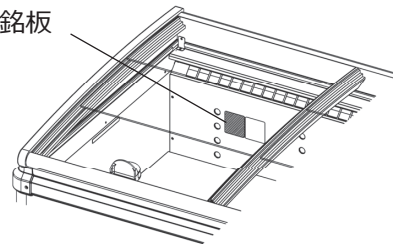
技術料+部品代+出張料などで構成されています。

- ・技術料・・・製品の点検や故障した製品を正常に修復するための料金です。
- ・部品代・・・修理に使用した部品代金です。
- ・出張料・・・お客様のご要望により、製品のある場所へ技術員を派遣する費用(出張料)や有料駐車場の費用(駐車料)を別途いただく場合があります。

## ●ご連絡いただきたい内容

- 1.品名 三菱オープンショーケース
- 2.形名 庫内機種銘板に記載  
<例> SV-JF684JRVA>
3. 製造番号 (庫内機種銘板に記載の8桁の番号)

機種銘板



- 4.故障の状況 (できるだけ具体的に)
- 5.設置年月日
- 6.設置場所のご住所
- 7.お名前・電話番号・訪問希望日
- 8.冷媒にR290 (プロパン) を使用していること

- この製品は、日本国内用に設計されていますので、**国外では使用できません。**  
また、アフターサービスもできません。

お客様メモ	お買い上げ販売店名
	電話番号

三菱電機株式会社  
三菱電機冷熱応用システム株式会社

〒640-8686 和歌山市手平6丁目5番66号 (三菱電機 (株) 冷熱システム製作所内)

ES79D402H06